

小規模企業景気動向調査 [2025年2月期調査]

～大雪や寒波が業種により異なる影響を与えた小規模企業景況～

<産業全体>

2月期の産業全体の景況は、売上額・業況DIが小幅に低下、採算DIはわずかに低下し、資金繰りDIは不変であった。大雪や寒波の影響に関するコメントが複数の業種であり、好影響を受けた業種と悪影響を受けた業種で差が広がる結果となった。産業全体として景気改善を図るには、賃上げによる個人消費の回復が必須であり、引き続き価格転嫁に向けた取組みを社会全体で進めていくことが重要である。

	DI	1月	2月	前月比
売上額		74	49	▲25
採算	▲17.5	▲17.6	▲0.1	
資金繰り	▲14.7	▲14.7	0.0	
業況	▲128	▲150	▲22	

<製造業(食料品、繊維、機械・金属)> 継続する停滞感の中、業種による差が広がり始めた製造業

製造業は、採算・資金繰りDIがわずかに上昇し、売上額・業況DIはわずかに低下した。食料品関連は、採算・資金繰りDIが小幅に上昇した。米等の生鮮食品の値上がりについての厳しいコメントが多い一方で、数十年ぶりに値上げをしたところネガティブな反応がなかったというコメントなど、価格転嫁に関する前向きなコメントも継続している。繊維関連は、全てのDIが低下した中、機械・金属関連は、全てのDIが上昇した。電気自動車と半導体需要が堅調とのコメントが継続しており、業種による差が見受けられた。

	DI	1月	2月	前月比
売上額		99	84	▲15
採算	▲18.9	▲18.2	0.7	
資金繰り	▲15.0	▲13.5	1.5	
業況	▲14.8	▲16.3	▲1.5	

<建設業> 地域差が見られるものの、改善傾向が継続している建設業

建設業は、売上額・資金繰りDIが小幅に上昇、採算DIは大幅に上昇し、業況DIはわずかに低下した。前月から引き続き、昨年と比較して降雪が続いたことにより、除雪作業を請け負っている事業者は好況であった。全国的に新築工事の需要が低迷している中、公共工事が業界を下支えしている傾向は変わらず、公共工事が減少している地域については厳しい状況とのコメントが多い。また、昨今、全国的にも労災事故の報告が増加している影響から、受注の条件として各種の有資格が求められてきており、受注が制限されることがあるとのコメントがあった。

	DI	1月	2月	前月比
売上額		11.1	134	23
採算	▲16.5	▲11.4	5.1	
資金繰り	▲15.4	▲13.1	2.3	
業況	▲7.9	▲8.9	▲1.0	

<小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)> 2カ月連続の小幅な悪化により、他業種との差が広がった小売業

小売業は、売上額・採算・業況DIが小幅に低下、資金繰りDIはわずかに低下し、小幅ながらも前月の悪化傾向が継続している。業種別DIにおいても、全業種の全てのDIが低下する結果となった。また、前年同月比でも全業種の全てのDIが低下した。2月は、例年需要の落ち着きが見られる閑散期ではあるが、仕入れ価格やエネルギー価格の上昇による厳しさが継続している中、大雪と寒波の影響で客足が遠のいたことが、暖冬であった前年同月と比較してDIが低下した要因として挙げられる。

	DI	1月	2月	前月比
売上額		24	▲20	▲4.4
採算	▲21.7	▲25.5	▲3.8	
資金繰り	▲17.4	▲18.9	▲1.5	
業況	▲19.4	▲21.6	▲2.2	

<サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)> 悪天候の影響を大きく受けたサービス業

サービス業は、売上額DIが大幅に低下、採算・資金繰り・業況DIは小幅に低下した。サービス業についても、小売業と同様に前月比および前年同月比ともに全業種の全てのDIが低下する結果となった。小売業同様、大雪と寒波の影響で予約キャンセルが相次いだなど、客足への悪影響に関するコメントが多かった。インバウンド需要は継続しているものの、個人消費の低迷がそれを上回っている状況である。

	DI	1月	2月	前月比
売上額		6.1	▲0.2	▲6.3
採算	▲13.0	▲15.6	▲2.6	
資金繰り	▲10.7	▲13.2	▲2.5	
業況	▲9.0	▲13.1	▲4.1	

調査概要

・調査対象：全国303商工会の経営指導員(有効回答数：223/回答率73.6%)

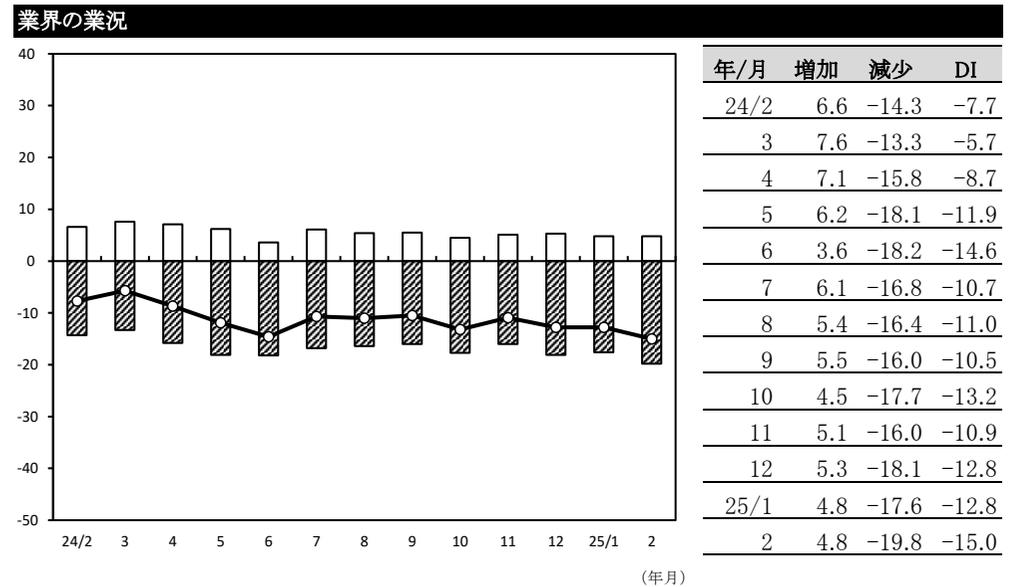
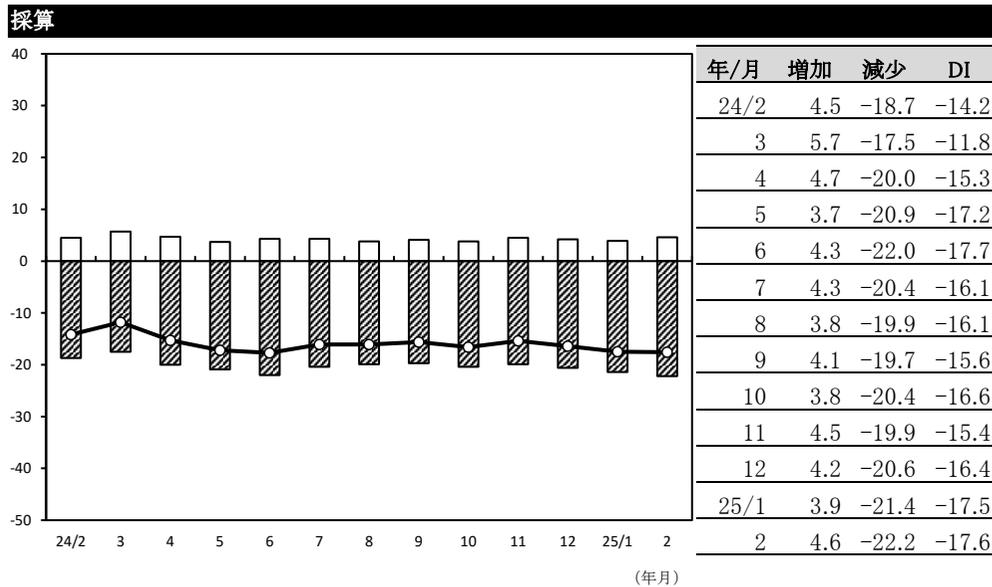
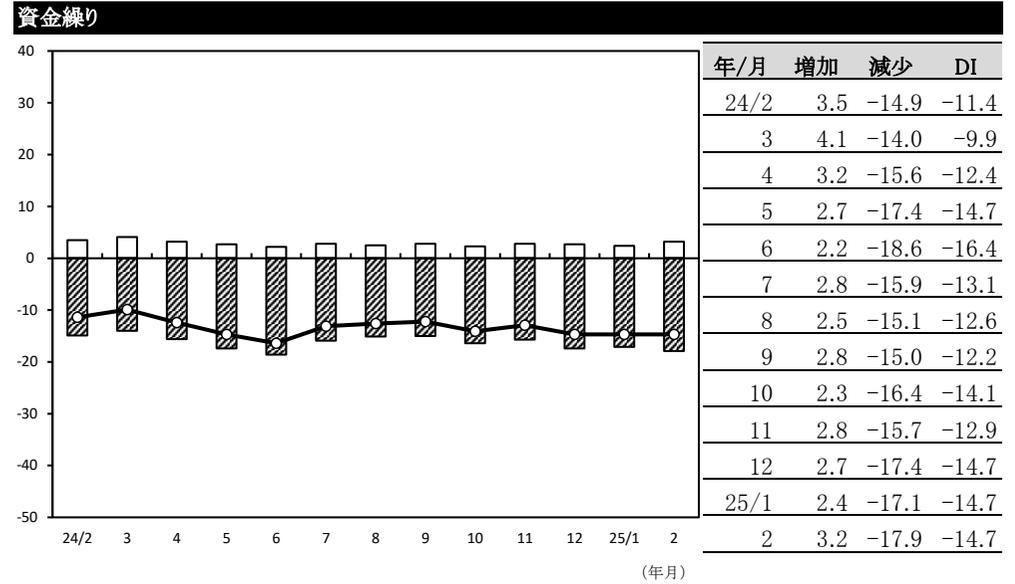
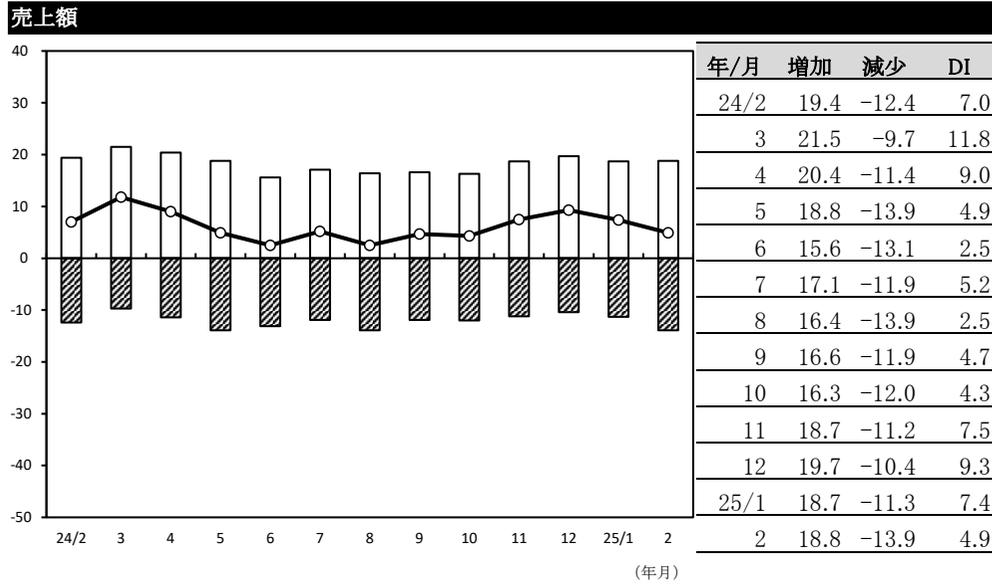
・調査時点：2025年2月末

・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

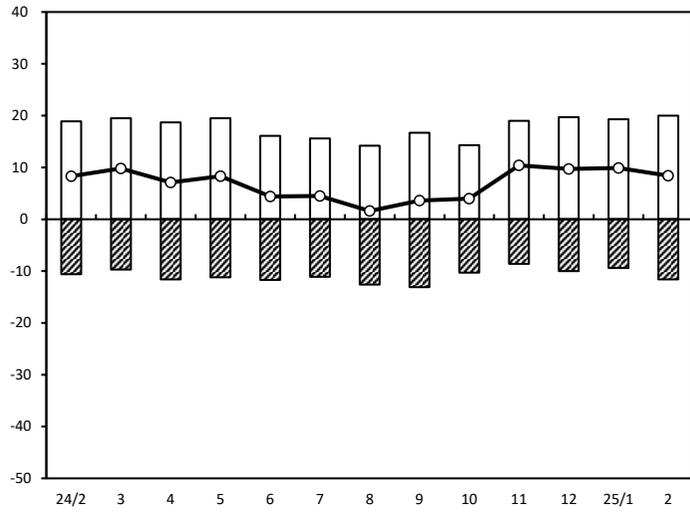
小規模企業景気動向調査(2025年2月期)

産業全体(前年同月比)



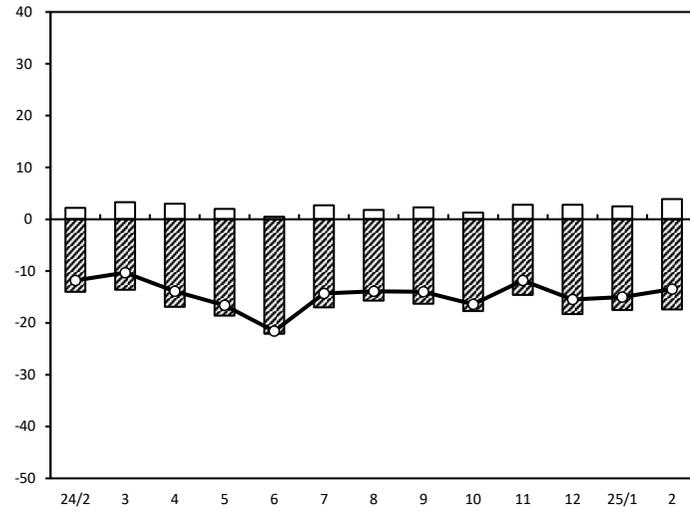
製 造 業(前年同月比)

売上額



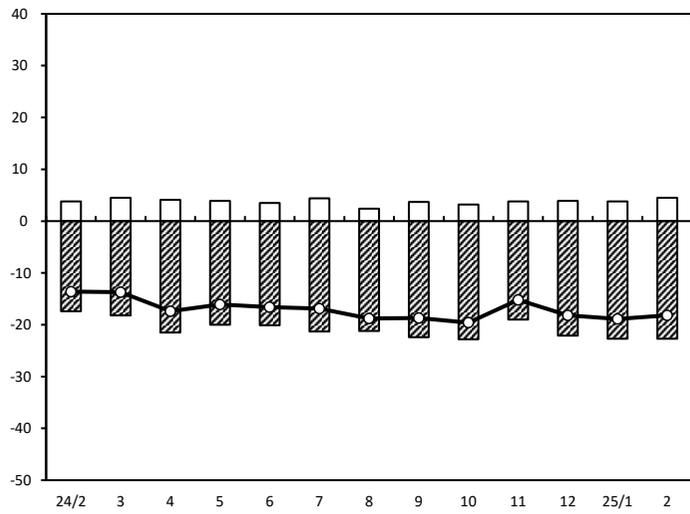
(年月)

資金繰り



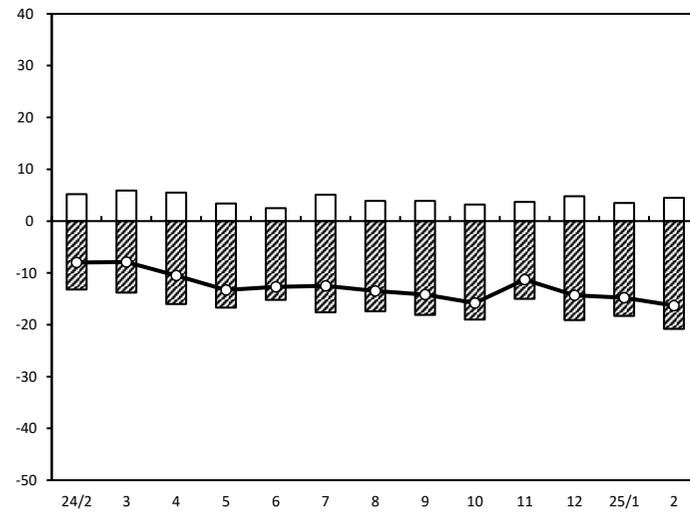
(年月)

採算



(年月)

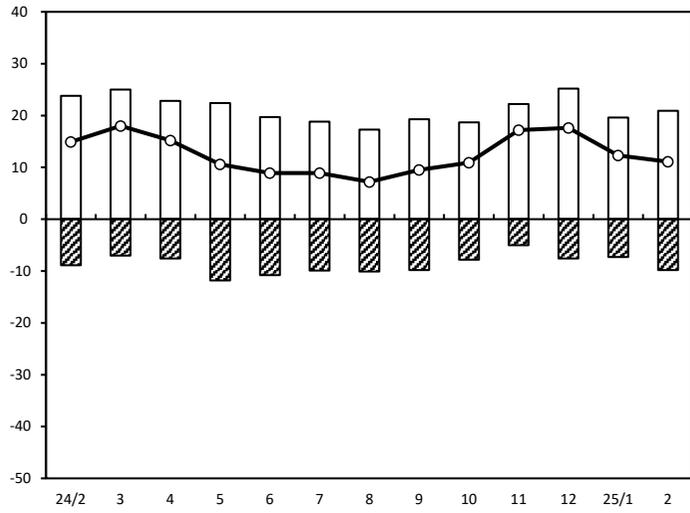
業界の業況



(年月)

製造業【食料品】（前年同月比）

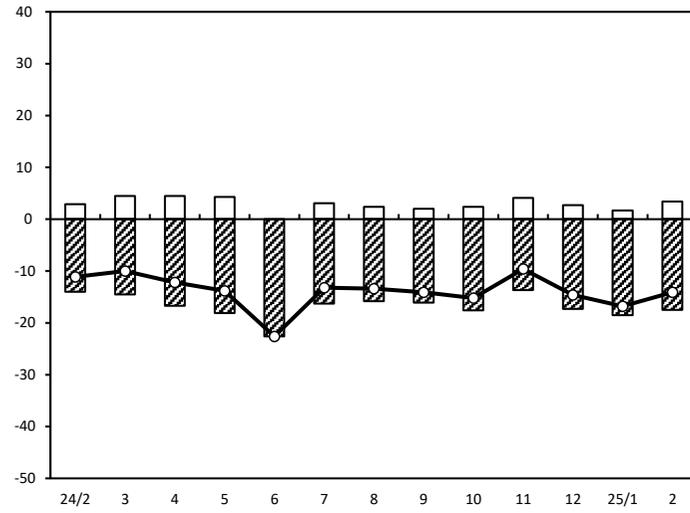
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/2	23.8	-8.9	14.9
3	25.0	-7.0	18.0
4	22.8	-7.6	15.2
5	22.4	-11.8	10.6
6	19.7	-10.8	8.9
7	18.8	-9.9	8.9
8	17.3	-10.1	7.2
9	19.3	-9.8	9.5
10	18.7	-7.8	10.9
11	22.2	-5.0	17.2
12	25.2	-7.6	17.6
25/1	19.6	-7.3	12.3
2	20.9	-9.8	11.1

(年月)

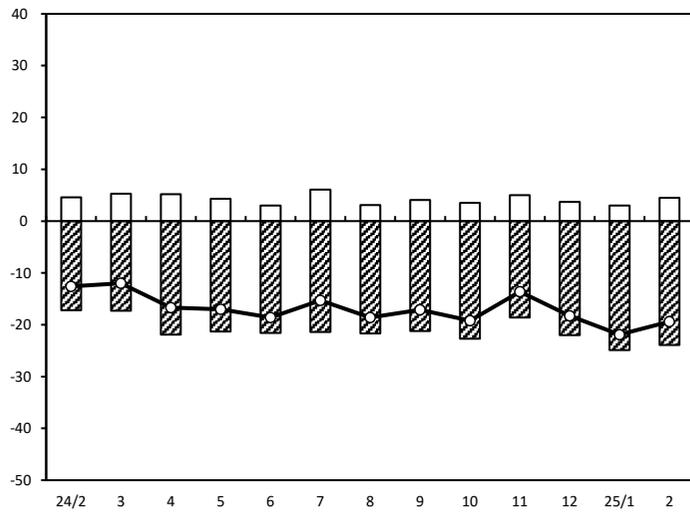
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/2	2.9	-14.0	-11.1
3	4.5	-14.5	-10.0
4	4.5	-16.7	-12.2
5	4.3	-18.1	-13.8
6	0.0	-22.6	-22.6
7	3.1	-16.3	-13.2
8	2.4	-15.8	-13.4
9	2.0	-16.1	-14.1
10	2.4	-17.6	-15.2
11	4.1	-13.7	-9.6
12	2.7	-17.3	-14.6
25/1	1.7	-18.5	-16.8
2	3.4	-17.5	-14.1

(年月)

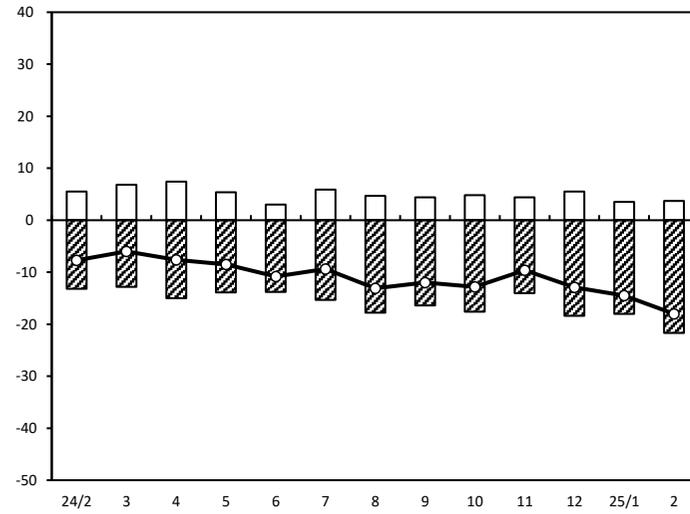
採算



年/月	増加	減少	DI
24/2	4.6	-17.2	-12.6
3	5.3	-17.3	-12.0
4	5.2	-21.9	-16.7
5	4.3	-21.3	-17.0
6	3.0	-21.6	-18.6
7	6.1	-21.4	-15.3
8	3.1	-21.7	-18.6
9	4.1	-21.2	-17.1
10	3.5	-22.7	-19.2
11	5.0	-18.6	-13.6
12	3.7	-22.0	-18.3
25/1	3.0	-24.9	-21.9
2	4.5	-23.9	-19.4

(年月)

業界の業況

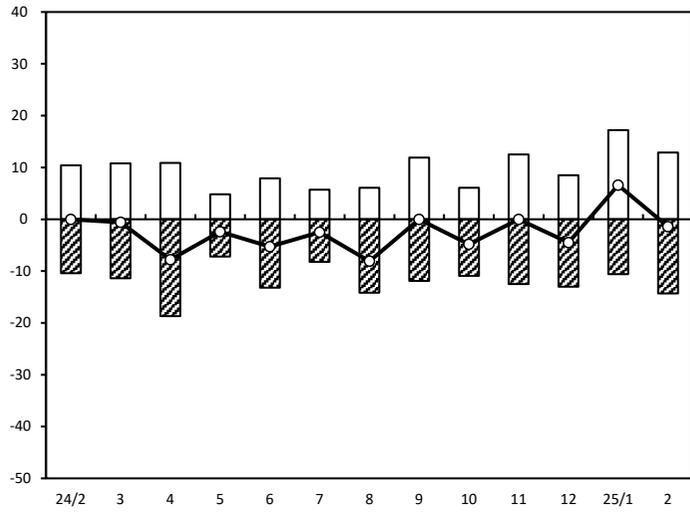


年/月	増加	減少	DI
24/2	5.5	-13.2	-7.7
3	6.8	-12.8	-6.0
4	7.4	-15.0	-7.6
5	5.4	-13.9	-8.5
6	3.0	-13.8	-10.8
7	5.9	-15.3	-9.4
8	4.7	-17.8	-13.1
9	4.4	-16.4	-12.0
10	4.8	-17.6	-12.8
11	4.4	-14.0	-9.6
12	5.5	-18.4	-12.9
25/1	3.5	-18.0	-14.5
2	3.7	-21.7	-18.0

(年月)

製 造 業【繊維】（前年同月比）

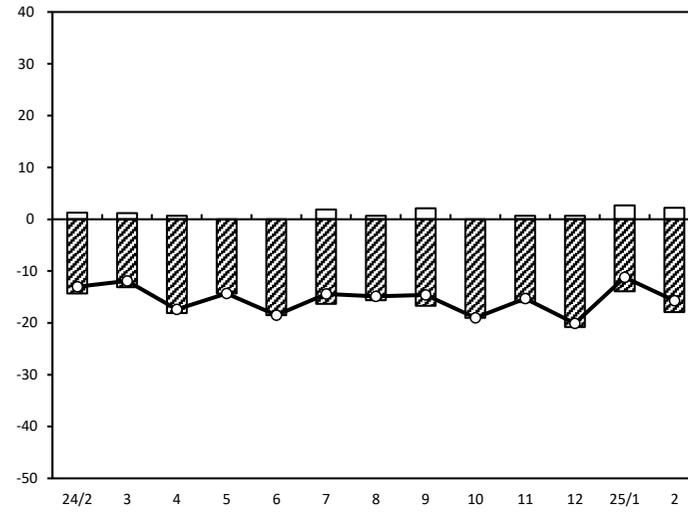
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/2	10.4	-10.4	0.0
3	10.8	-11.4	-0.6
4	10.9	-18.7	-7.8
5	4.8	-7.2	-2.4
6	7.9	-13.2	-5.3
7	5.7	-8.2	-2.5
8	6.1	-14.2	-8.1
9	11.9	-11.9	0.0
10	6.1	-10.9	-4.8
11	12.5	-12.5	0.0
12	8.5	-13.0	-4.5
25/1	17.2	-10.6	6.6
2	12.9	-14.3	-1.4

(年月)

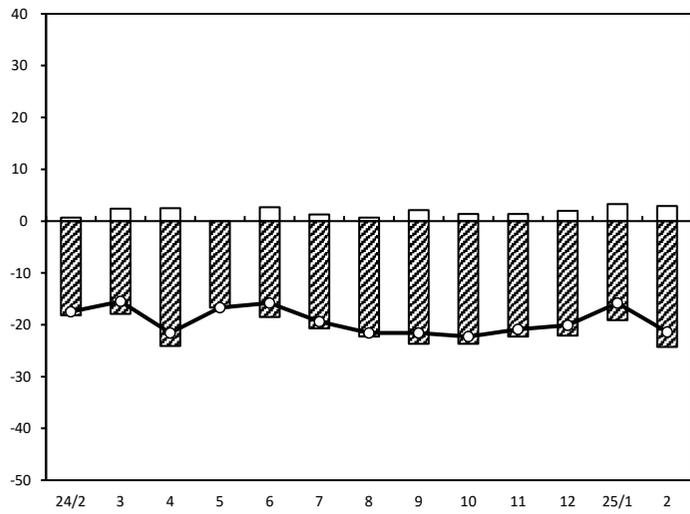
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/2	1.3	-14.3	-13.0
3	1.2	-13.1	-11.9
4	0.7	-18.1	-17.4
5	0.0	-14.3	-14.3
6	0.0	-18.5	-18.5
7	1.9	-16.3	-14.4
8	0.7	-15.6	-14.9
9	2.1	-16.7	-14.6
10	0.0	-19.0	-19.0
11	0.7	-16.0	-15.3
12	0.7	-20.8	-20.1
25/1	2.7	-13.9	-11.2
2	2.2	-17.9	-15.7

(年月)

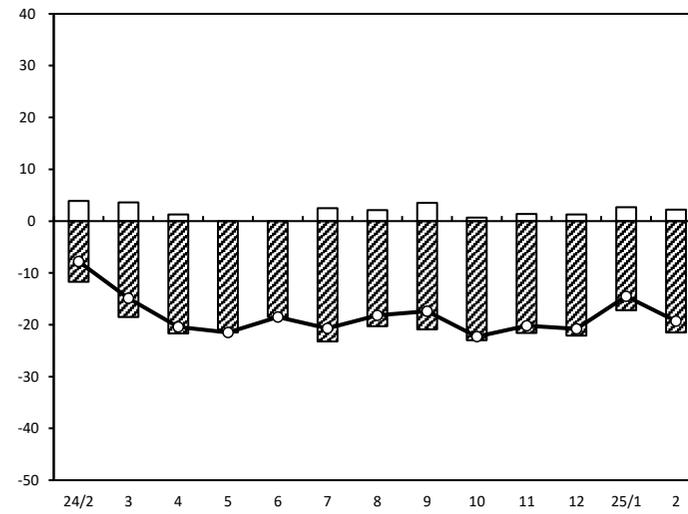
採算



年/月	増加	減少	DI
24/2	0.7	-18.2	-17.5
3	2.4	-17.9	-15.5
4	2.5	-24.1	-21.6
5	0.0	-16.7	-16.7
6	2.7	-18.5	-15.8
7	1.3	-20.7	-19.4
8	0.7	-22.3	-21.6
9	2.1	-23.7	-21.6
10	1.4	-23.7	-22.3
11	1.4	-22.3	-20.9
12	2.0	-22.1	-20.1
25/1	3.3	-19.1	-15.8
2	2.9	-24.3	-21.4

(年月)

業界の業況

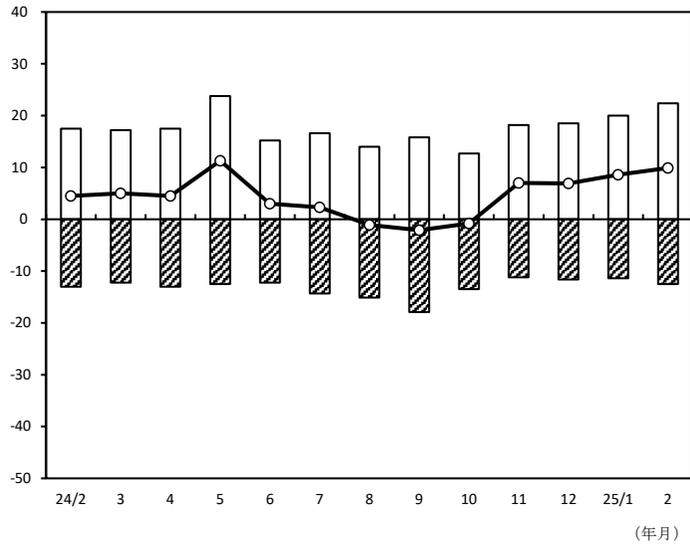


年/月	増加	減少	DI
24/2	3.9	-11.7	-7.8
3	3.6	-18.5	-14.9
4	1.3	-21.7	-20.4
5	0.0	-21.5	-21.5
6	0.0	-18.5	-18.5
7	2.5	-23.2	-20.7
8	2.1	-20.3	-18.2
9	3.5	-20.9	-17.4
10	0.7	-23.0	-22.3
11	1.4	-21.6	-20.2
12	1.3	-22.1	-20.8
25/1	2.7	-17.2	-14.5
2	2.2	-21.5	-19.3

(年月)

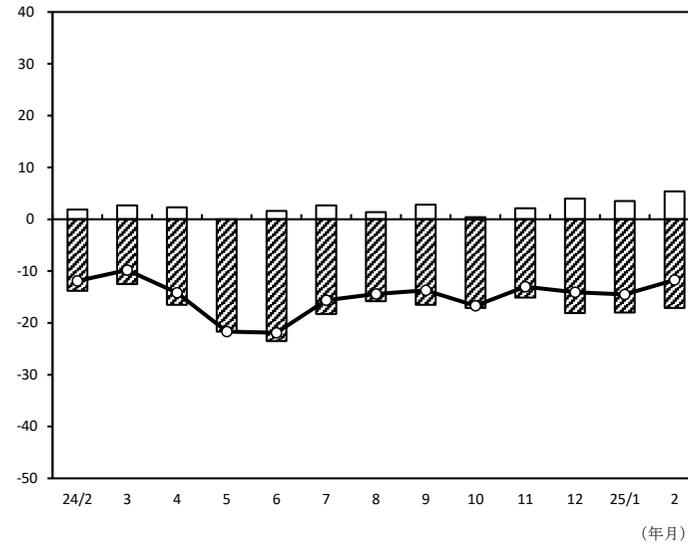
製 造 業【機械・金属】（前年同月比）

売上額



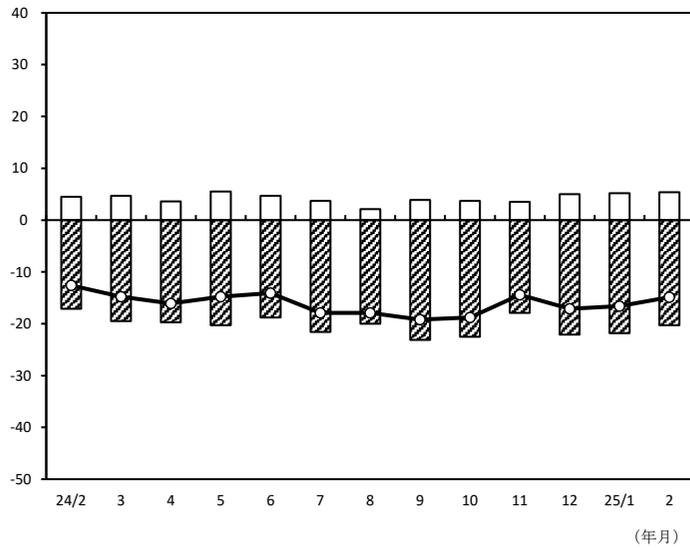
年/月	増加	減少	DI
24/2	17.5	-13.0	4.5
3	17.2	-12.2	5.0
4	17.5	-13.0	4.5
5	23.8	-12.5	11.3
6	15.2	-12.2	3.0
7	16.6	-14.3	2.3
8	14.0	-15.1	-1.1
9	15.8	-17.9	-2.1
10	12.7	-13.5	-0.8
11	18.2	-11.2	7.0
12	18.5	-11.6	6.9
25/1	20.0	-11.4	8.6
2	22.4	-12.5	9.9

資金繰り



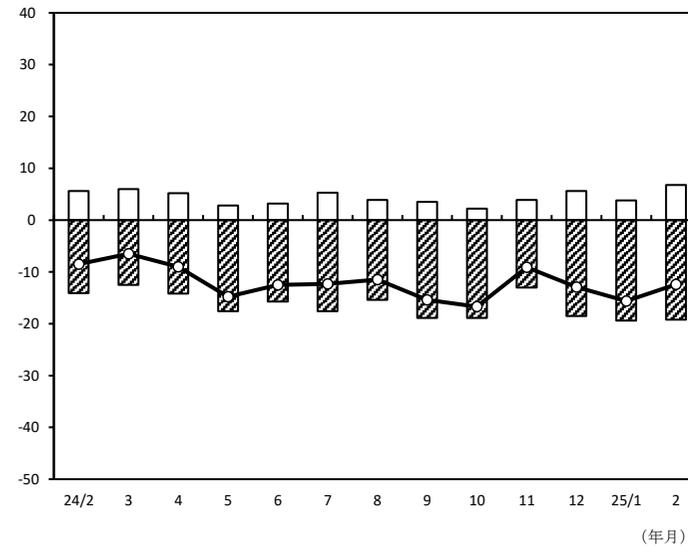
年/月	増加	減少	DI
24/2	1.9	-13.8	-11.9
3	2.7	-12.5	-9.8
4	2.3	-16.5	-14.2
5	0.0	-21.7	-21.7
6	1.6	-23.5	-21.9
7	2.7	-18.3	-15.6
8	1.4	-15.8	-14.4
9	2.8	-16.5	-13.7
10	0.4	-17.1	-16.7
11	2.1	-15.1	-13.0
12	4.0	-18.1	-14.1
25/1	3.5	-18.0	-14.5
2	5.4	-17.1	-11.7

採算



年/月	増加	減少	DI
24/2	4.5	-17.1	-12.6
3	4.7	-19.5	-14.8
4	3.6	-19.7	-16.1
5	5.5	-20.3	-14.8
6	4.7	-18.8	-14.1
7	3.7	-21.6	-17.9
8	2.1	-20.0	-17.9
9	3.9	-23.1	-19.2
10	3.7	-22.5	-18.8
11	3.5	-17.9	-14.4
12	5.0	-22.1	-17.1
25/1	5.2	-21.8	-16.6
2	5.4	-20.3	-14.9

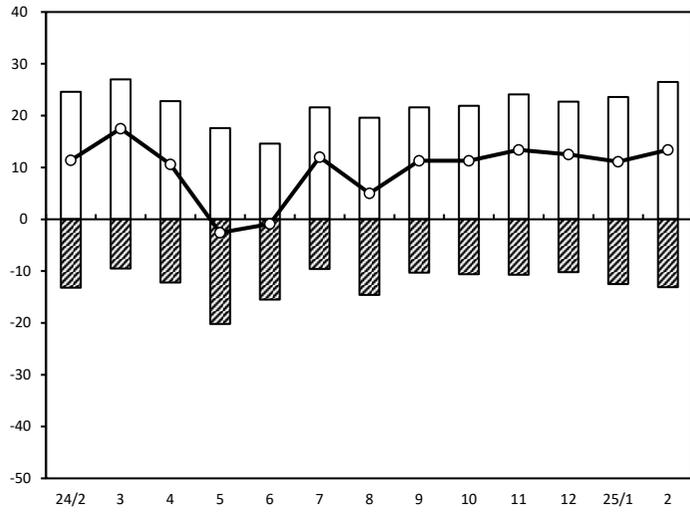
業界の業況



年/月	増加	減少	DI
24/2	5.6	-14.1	-8.5
3	6.0	-12.5	-6.5
4	5.2	-14.2	-9.0
5	2.8	-17.6	-14.8
6	3.2	-15.7	-12.5
7	5.3	-17.6	-12.3
8	3.9	-15.4	-11.5
9	3.5	-18.9	-15.4
10	2.2	-18.9	-16.7
11	3.9	-13.0	-9.1
12	5.6	-18.5	-12.9
25/1	3.8	-19.4	-15.6
2	6.8	-19.2	-12.4

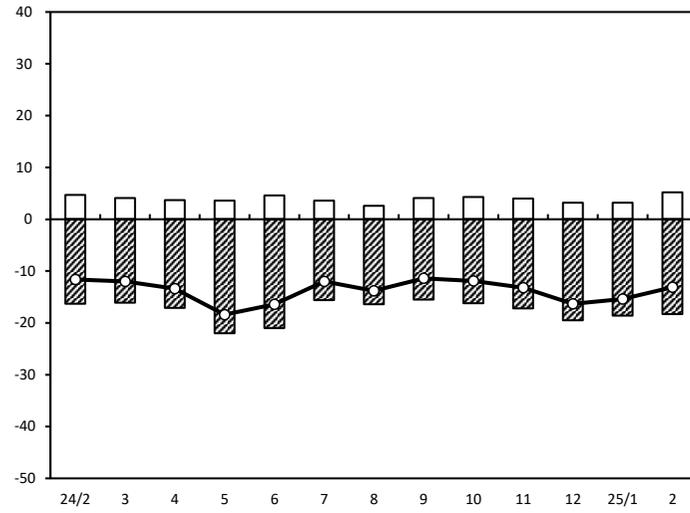
建設業(前年同月比)

売上額



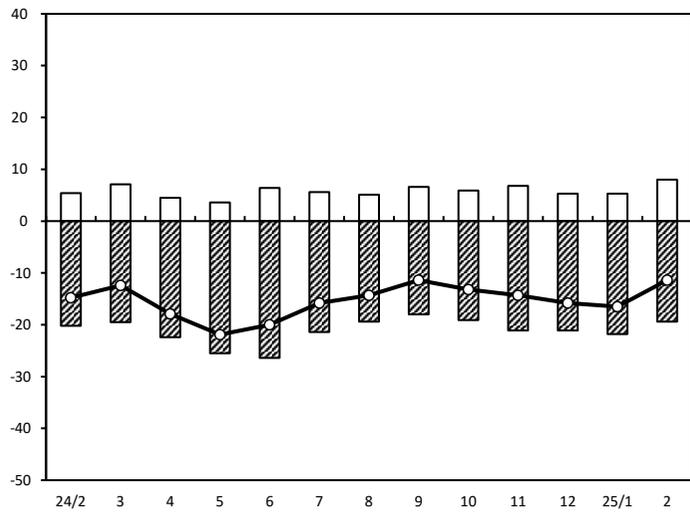
(年月)

資金繰り



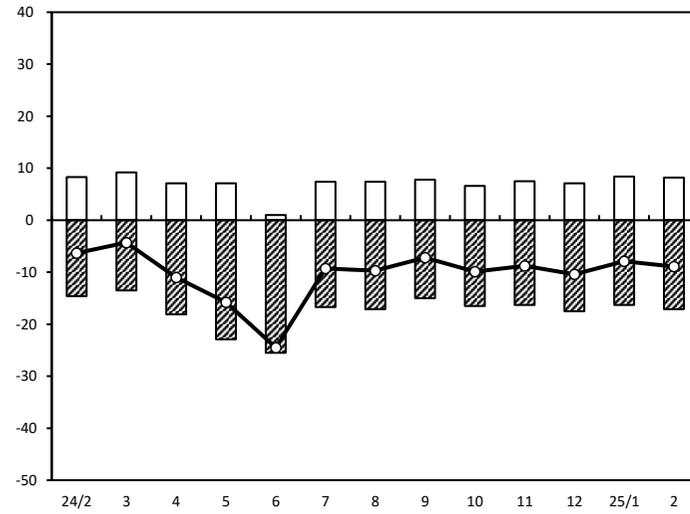
(年月)

採算



(年月)

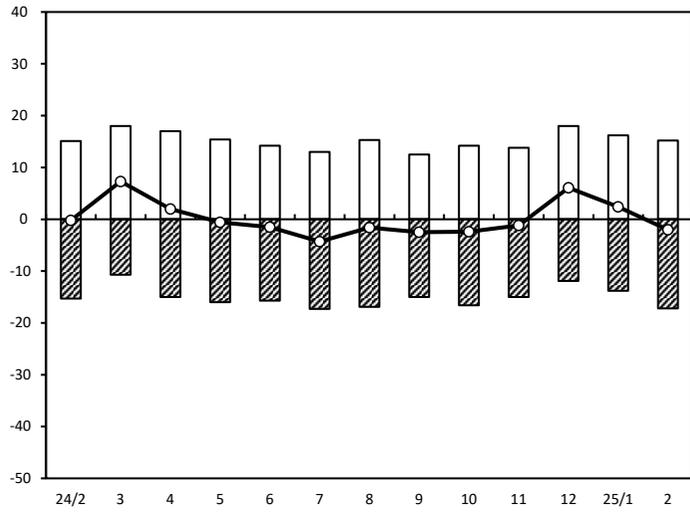
業界の業況



(年月)

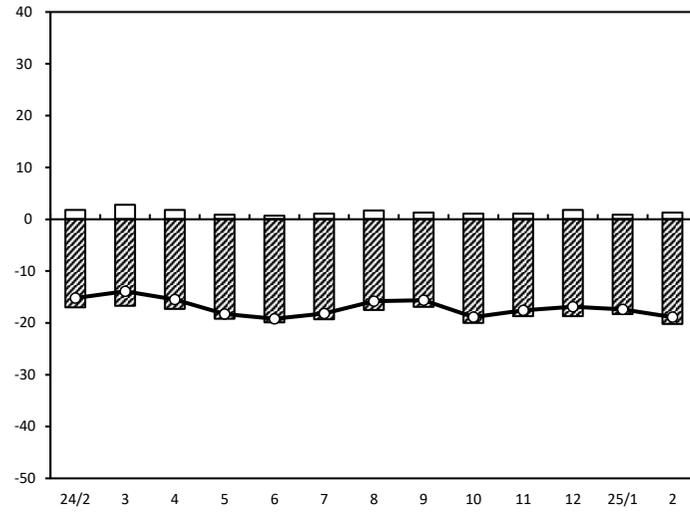
小 売 業(前年同月比)

売上額



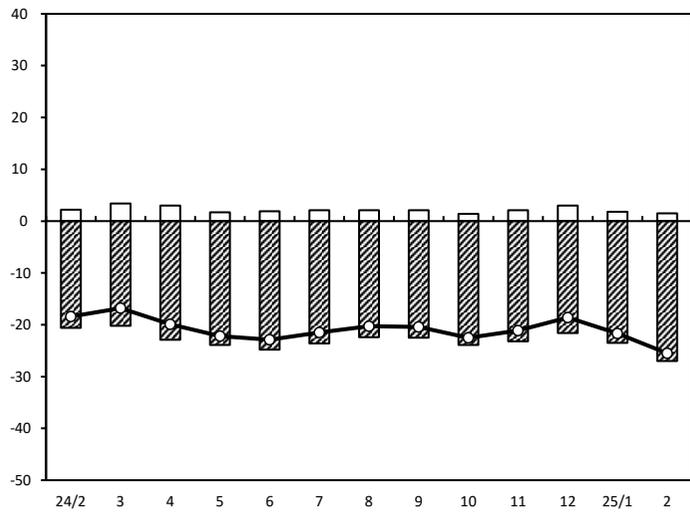
(年月)

資金繰り



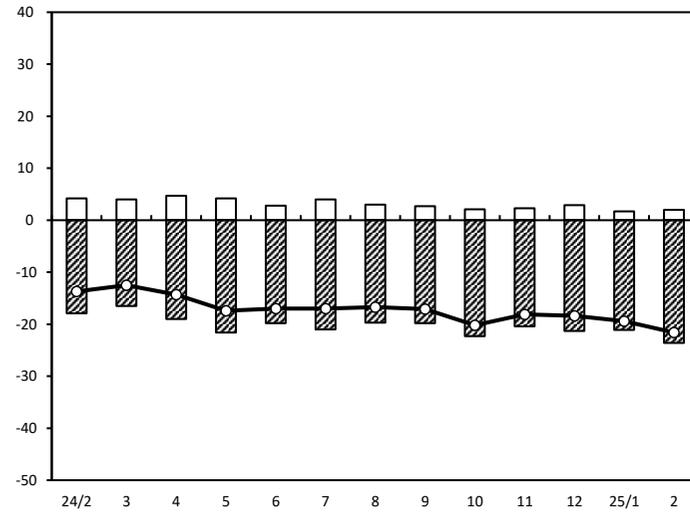
(年月)

採算



(年月)

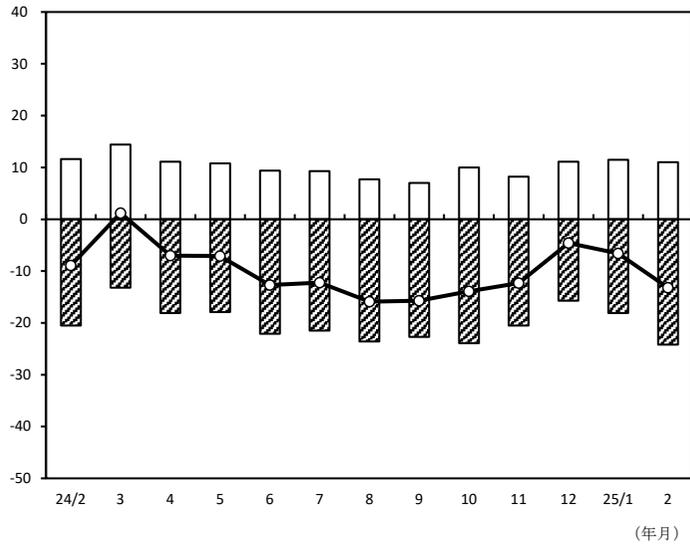
業界の業況



(年月)

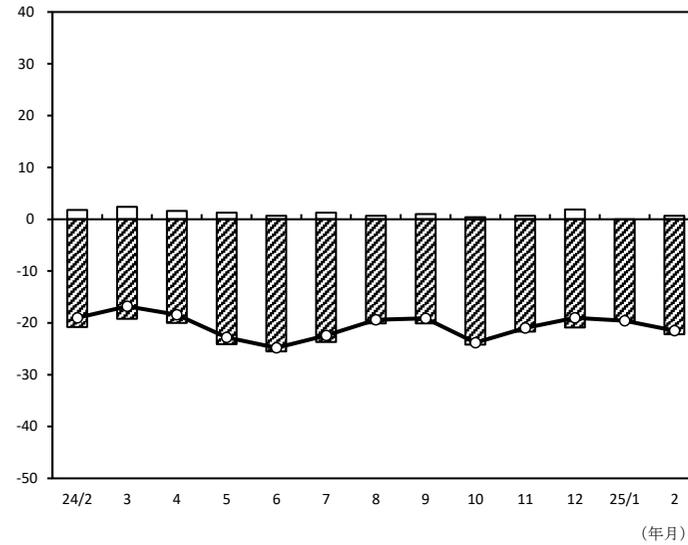
小売業【衣料品】（前年同月比）

売上額



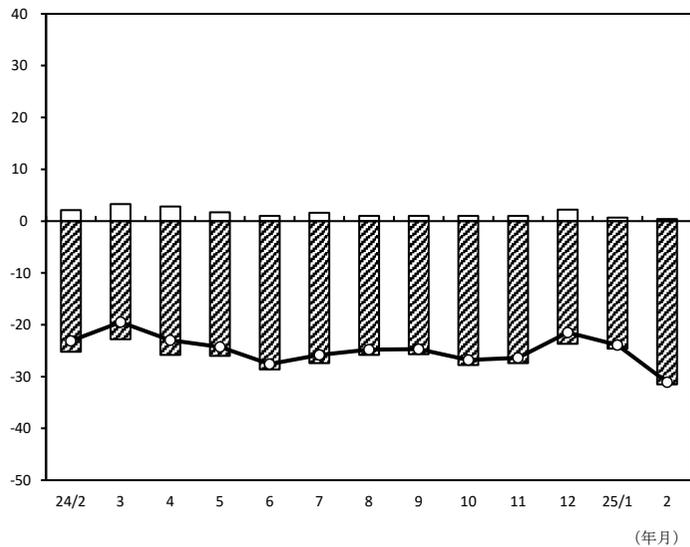
年/月	増加	減少	DI
24/2	11.6	-20.5	-8.9
3	14.4	-13.2	1.2
4	11.1	-18.1	-7.0
5	10.8	-17.9	-7.1
6	9.4	-22.1	-12.7
7	9.3	-21.5	-12.2
8	7.7	-23.6	-15.9
9	7.0	-22.7	-15.7
10	10.0	-23.9	-13.9
11	8.2	-20.5	-12.3
12	11.1	-15.7	-4.6
25/1	11.5	-18.1	-6.6
2	11.0	-24.2	-13.2

資金繰り



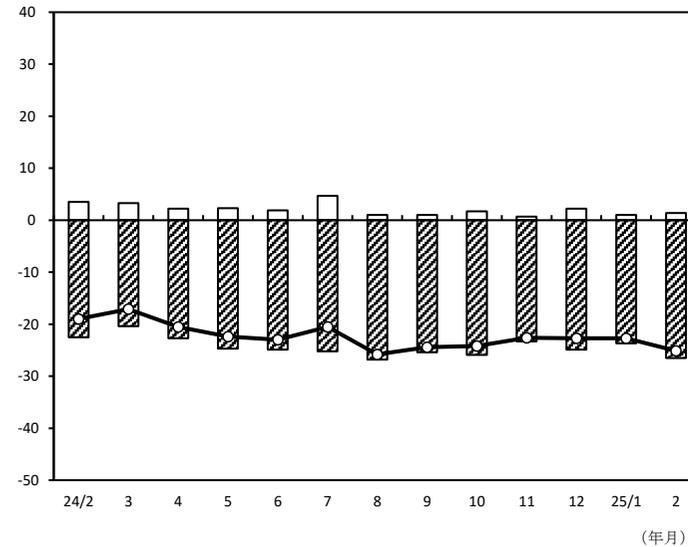
年/月	増加	減少	DI
24/2	1.8	-20.8	-19.0
3	2.4	-19.2	-16.8
4	1.6	-20.0	-18.4
5	1.3	-24.1	-22.8
6	0.7	-25.5	-24.8
7	1.3	-23.7	-22.4
8	0.7	-20.1	-19.4
9	1.0	-20.1	-19.1
10	0.4	-24.2	-23.8
11	0.7	-21.7	-21.0
12	1.9	-20.9	-19.0
25/1	0.0	-19.6	-19.6
2	0.7	-22.2	-21.5

採算



年/月	増加	減少	DI
24/2	2.1	-25.2	-23.1
3	3.3	-22.8	-19.5
4	2.8	-25.8	-23.0
5	1.7	-26.0	-24.3
6	1.0	-28.6	-27.6
7	1.6	-27.4	-25.8
8	1.0	-25.8	-24.8
9	1.0	-25.7	-24.7
10	1.0	-27.8	-26.8
11	1.0	-27.4	-26.4
12	2.2	-23.7	-21.5
25/1	0.7	-24.6	-23.9
2	0.4	-31.5	-31.1

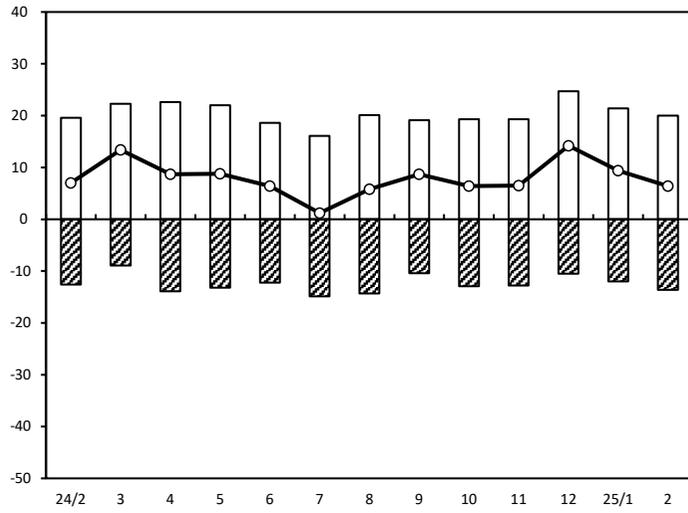
業界の業況



年/月	増加	減少	DI
24/2	3.5	-22.5	-19.0
3	3.3	-20.4	-17.1
4	2.2	-22.7	-20.5
5	2.3	-24.7	-22.4
6	1.9	-24.9	-23.0
7	4.7	-25.2	-20.5
8	1.0	-26.8	-25.8
9	1.0	-25.4	-24.4
10	1.7	-25.9	-24.2
11	0.7	-23.3	-22.6
12	2.2	-24.9	-22.7
25/1	1.0	-23.7	-22.7
2	1.4	-26.5	-25.1

小売業【食料品】（前年同月比）

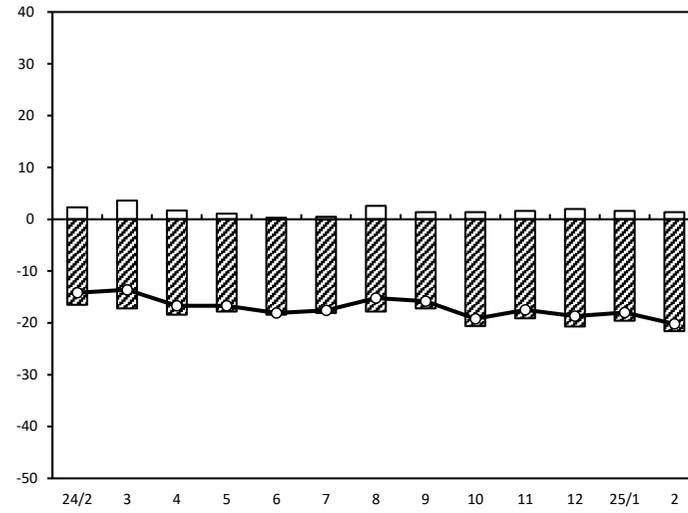
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/2	19.6	-12.6	7.0
3	22.3	-8.9	13.4
4	22.6	-13.9	8.7
5	22.0	-13.2	8.8
6	18.6	-12.2	6.4
7	16.1	-14.9	1.2
8	20.1	-14.3	5.8
9	19.1	-10.4	8.7
10	19.3	-12.9	6.4
11	19.3	-12.8	6.5
12	24.7	-10.5	14.2
25/1	21.4	-12.0	9.4
2	20.0	-13.6	6.4

(年月)

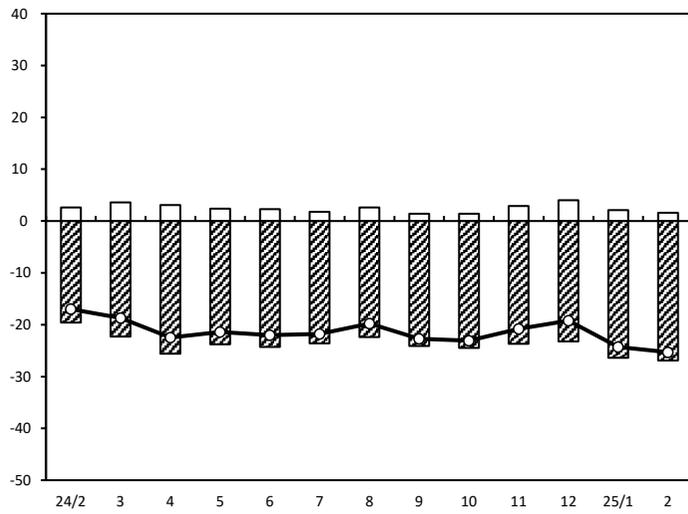
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/2	2.3	-16.5	-14.2
3	3.6	-17.2	-13.6
4	1.7	-18.4	-16.7
5	1.1	-17.8	-16.7
6	0.3	-18.4	-18.1
7	0.5	-18.1	-17.6
8	2.6	-17.8	-15.2
9	1.4	-17.2	-15.8
10	1.4	-20.6	-19.2
11	1.6	-19.1	-17.5
12	2.0	-20.7	-18.7
25/1	1.6	-19.6	-18.0
2	1.4	-21.6	-20.2

(年月)

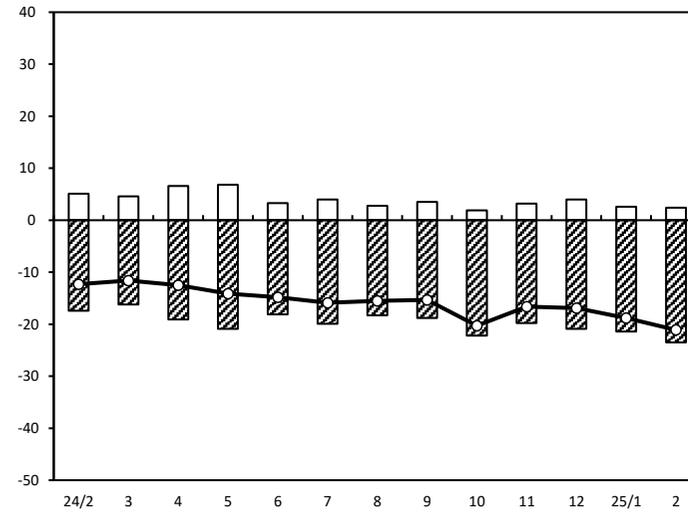
採算



年/月	増加	減少	DI
24/2	2.6	-19.6	-17.0
3	3.6	-22.3	-18.7
4	3.1	-25.6	-22.5
5	2.4	-23.8	-21.4
6	2.3	-24.3	-22.0
7	1.8	-23.6	-21.8
8	2.6	-22.4	-19.8
9	1.4	-24.1	-22.7
10	1.4	-24.5	-23.1
11	2.9	-23.7	-20.8
12	4.0	-23.2	-19.2
25/1	2.1	-26.4	-24.3
2	1.6	-26.9	-25.3

(年月)

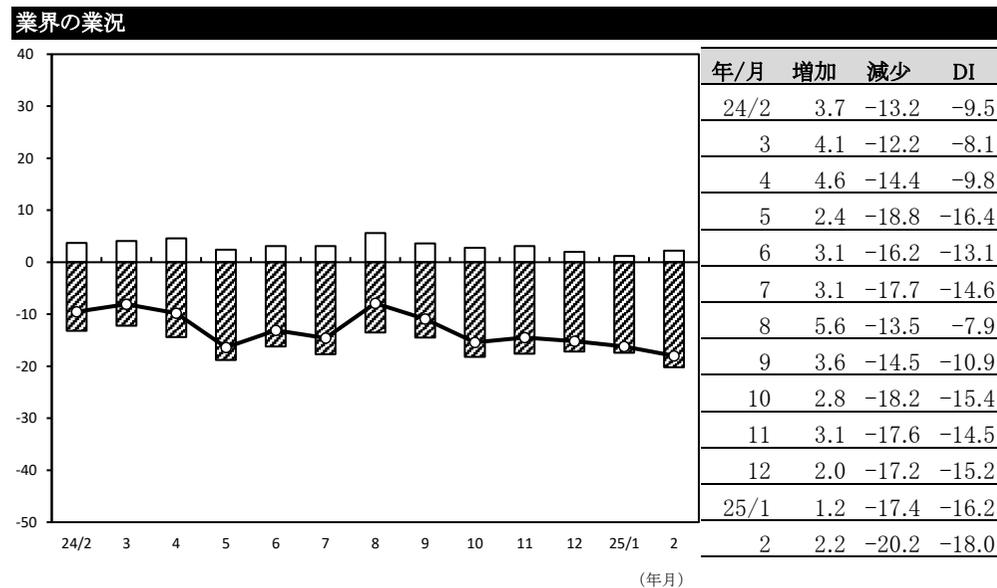
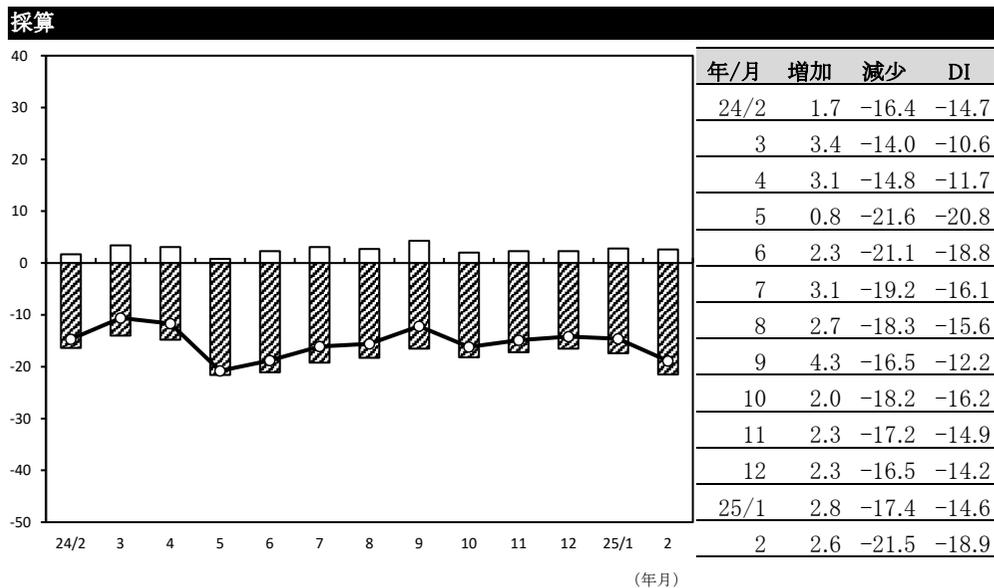
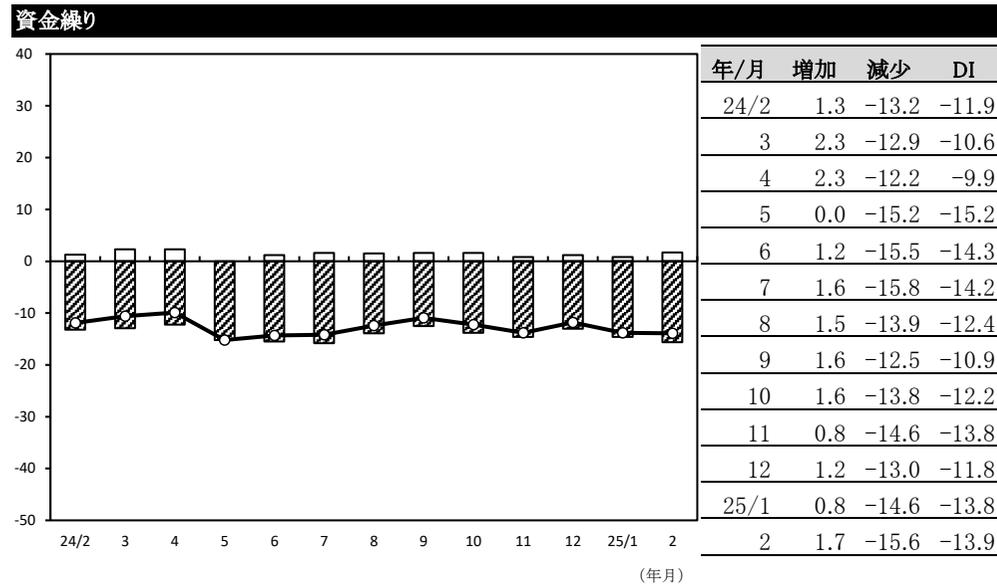
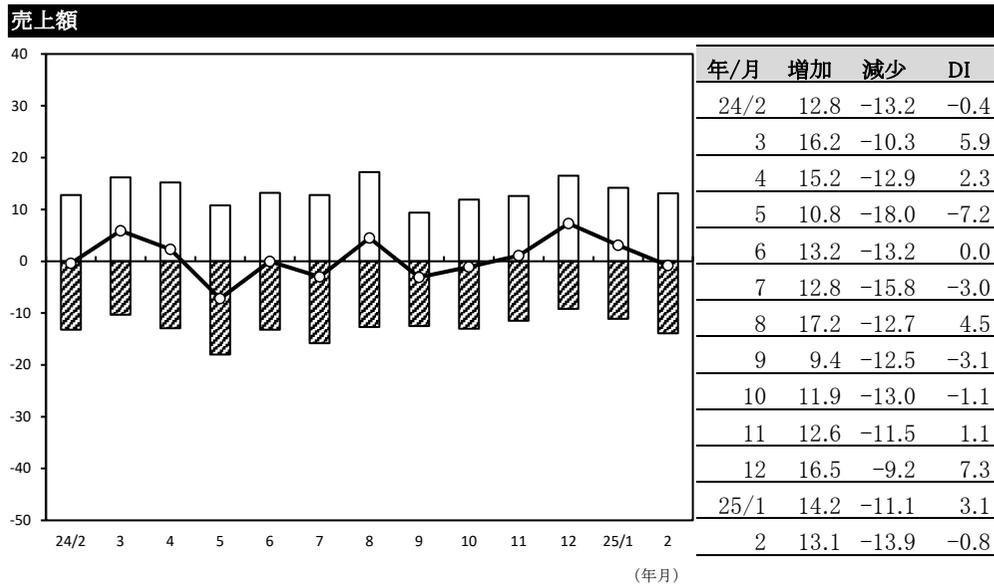
業界の業況



年/月	増加	減少	DI
24/2	5.1	-17.4	-12.3
3	4.6	-16.2	-11.6
4	6.6	-19.1	-12.5
5	6.8	-20.9	-14.1
6	3.3	-18.1	-14.8
7	4.0	-19.9	-15.9
8	2.8	-18.3	-15.5
9	3.5	-18.8	-15.3
10	1.9	-22.2	-20.3
11	3.2	-19.8	-16.6
12	4.0	-20.9	-16.9
25/1	2.6	-21.4	-18.8
2	2.4	-23.5	-21.1

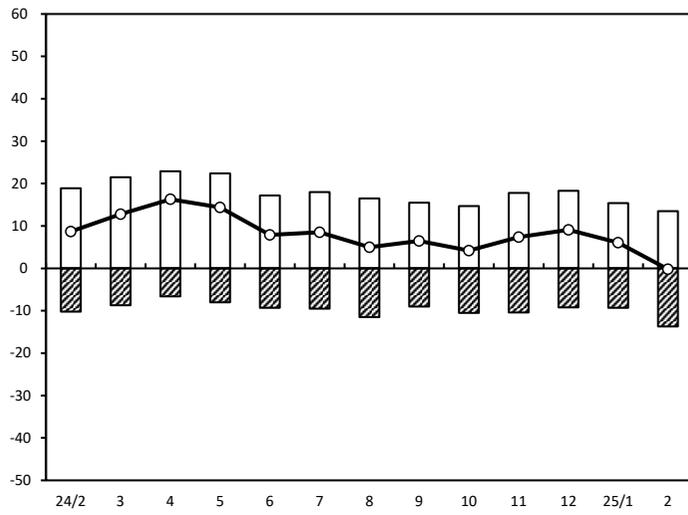
(年月)

小 売 業 【耐久消費財】（前年同月比）



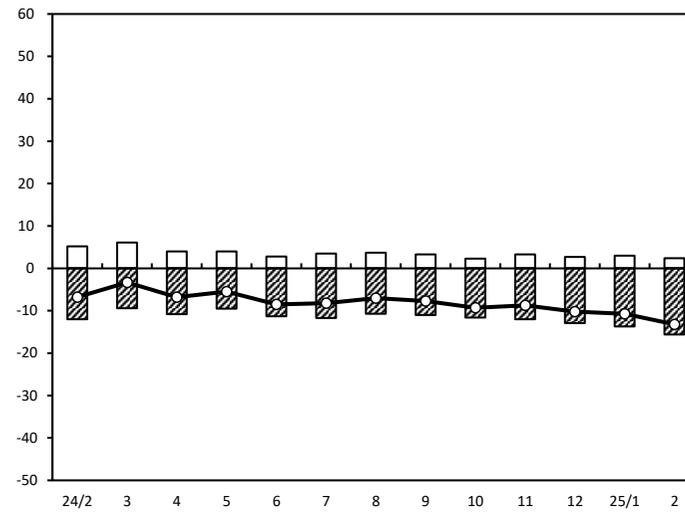
サービス業(前年同月比)

売上額



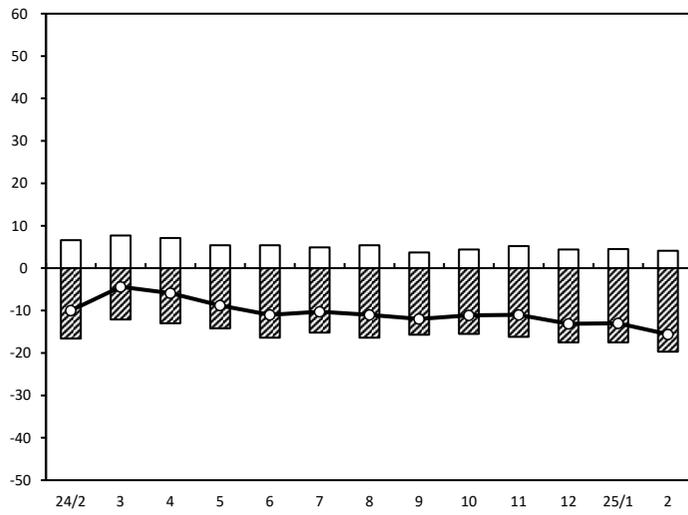
(年月)

資金繰り



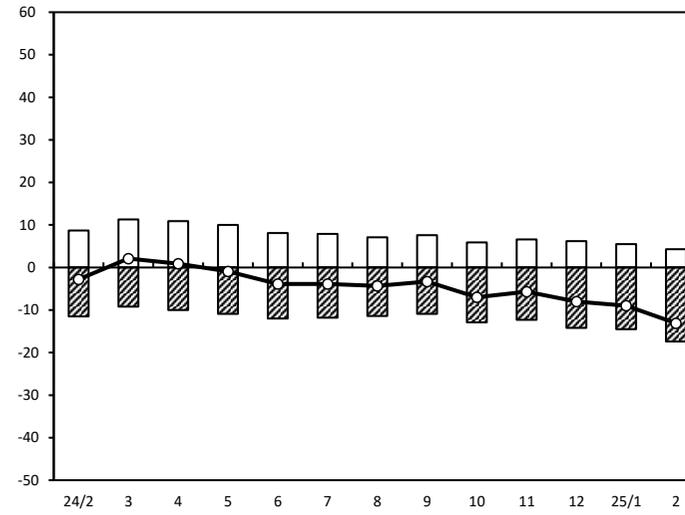
(年月)

採算



(年月)

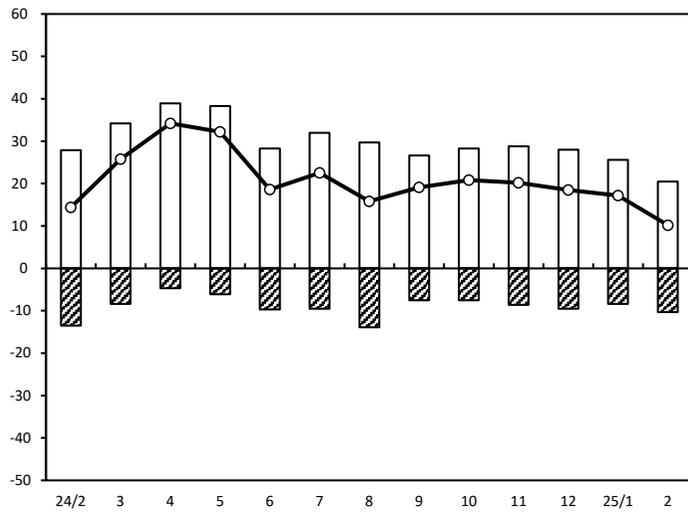
業界の業況



(年月)

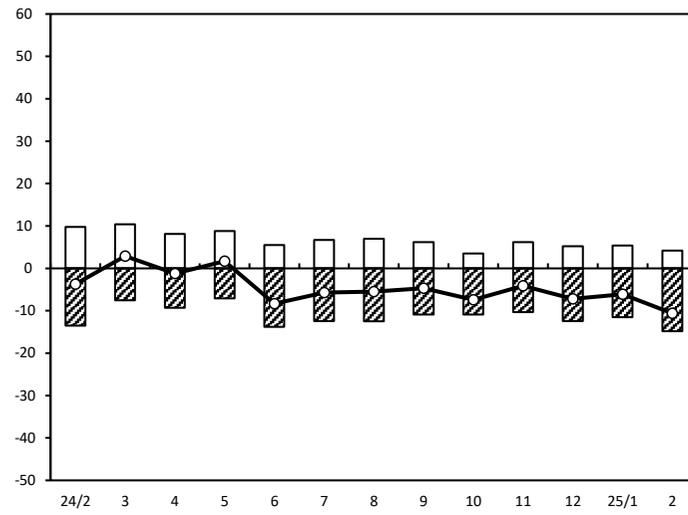
サービス業【旅館】（前年同月比）

売上額



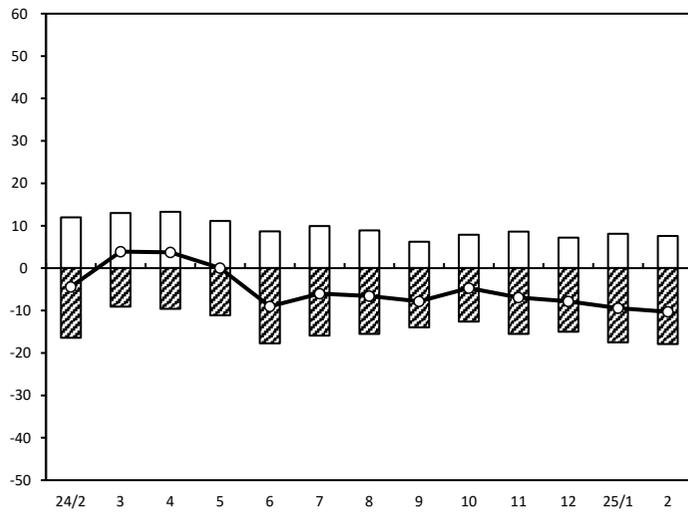
(年月)

資金繰り



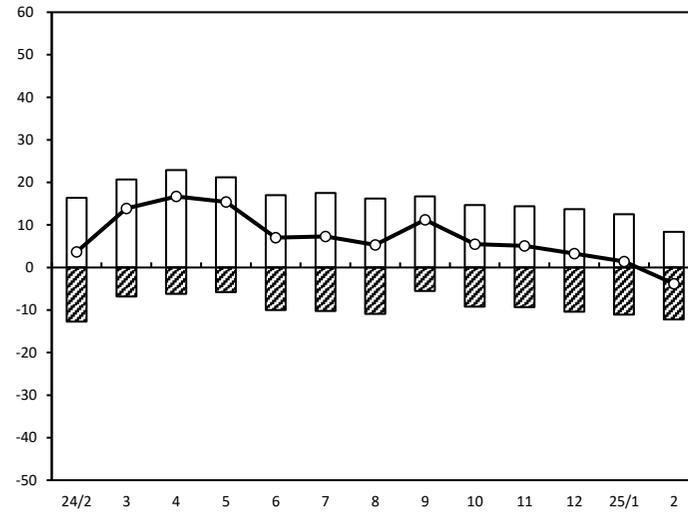
(年月)

採算



(年月)

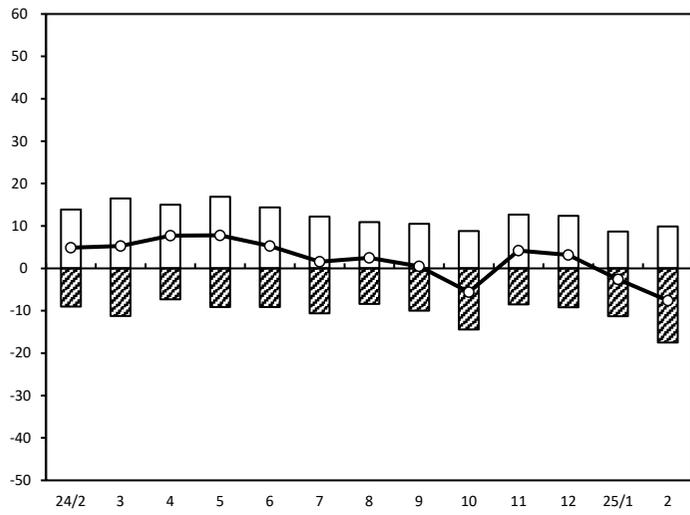
業界の業況



(年月)

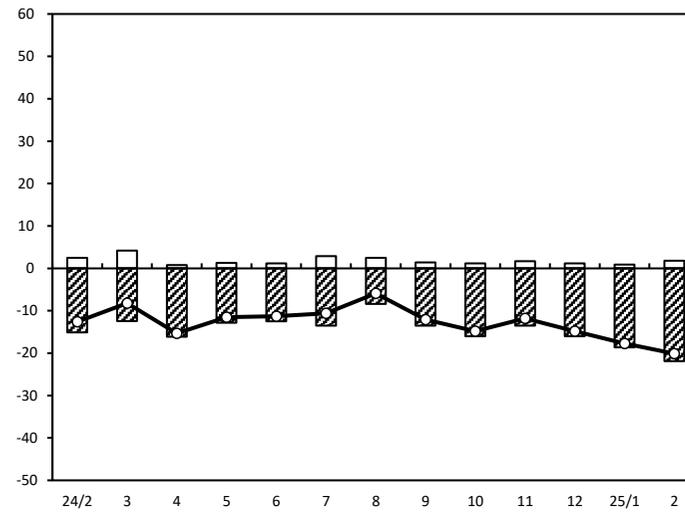
サービス業【クリーニング】（前年同月比）

売上額



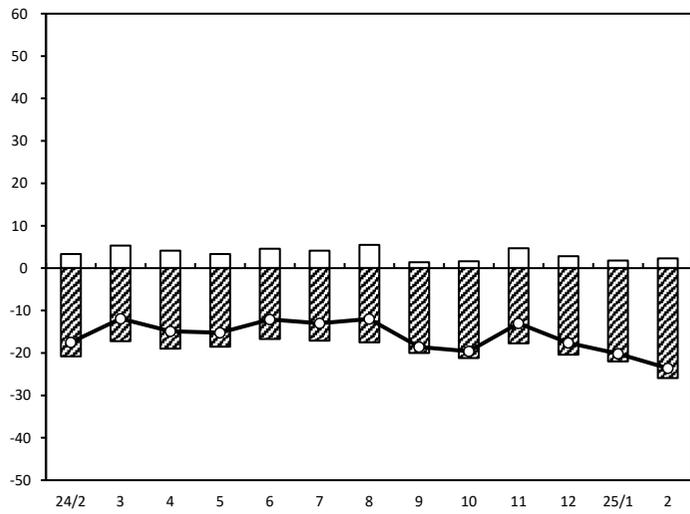
(年月)

資金繰り



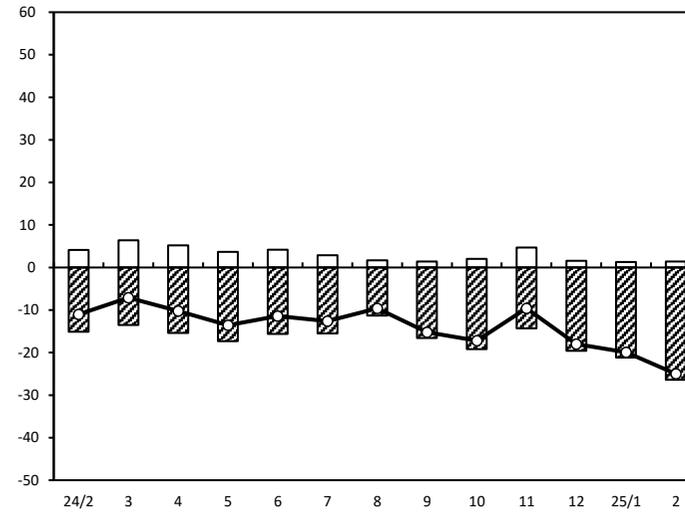
(年月)

採算



(年月)

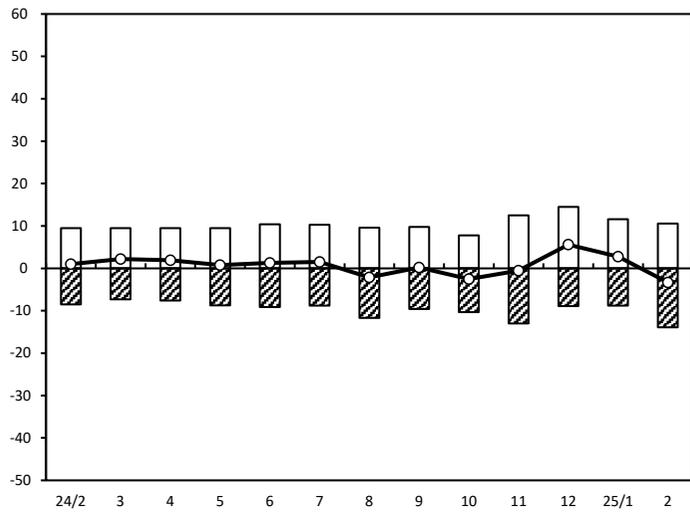
業界の業況



(年月)

サービス業【理・美容】（前年同月比）

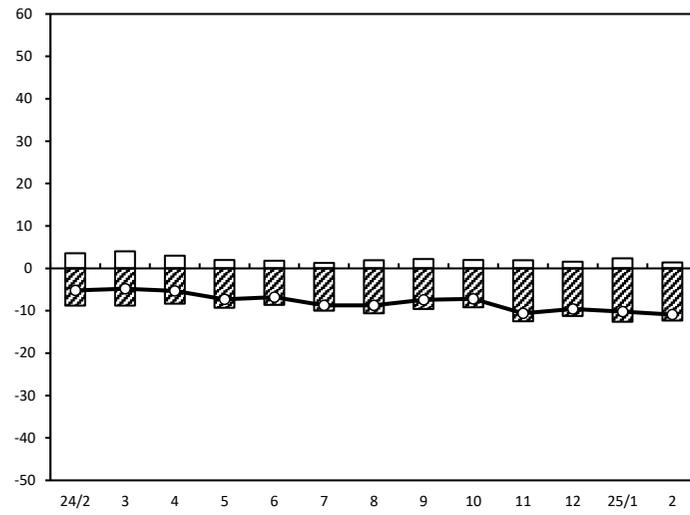
売上額



年/月	増加	減少	DI
24/2	9.5	-8.5	1.0
3	9.5	-7.3	2.2
4	9.5	-7.6	1.9
5	9.5	-8.7	0.8
6	10.4	-9.1	1.3
7	10.3	-8.8	1.5
8	9.6	-11.7	-2.1
9	9.8	-9.6	0.2
10	7.8	-10.3	-2.5
11	12.5	-13.0	-0.5
12	14.5	-8.9	5.6
25/1	11.6	-8.8	2.8
2	10.6	-13.9	-3.3

(年月)

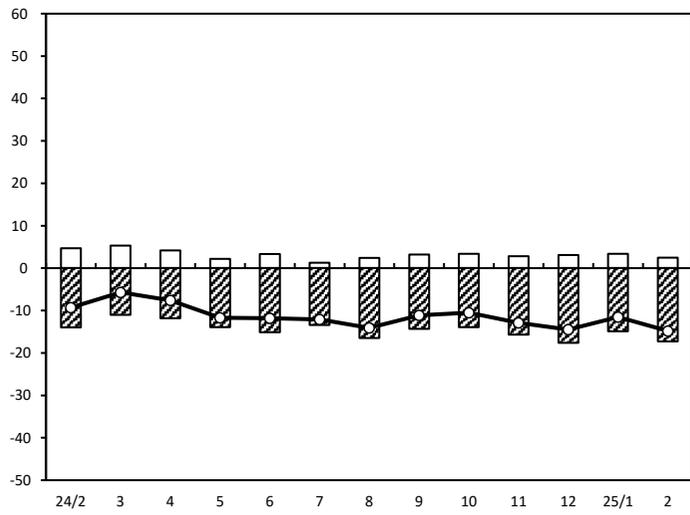
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
24/2	3.6	-8.8	-5.2
3	4.0	-8.8	-4.8
4	3.0	-8.3	-5.3
5	2.0	-9.3	-7.3
6	1.8	-8.6	-6.8
7	1.3	-10.0	-8.7
8	1.9	-10.6	-8.7
9	2.2	-9.6	-7.4
10	2.0	-9.2	-7.2
11	1.9	-12.5	-10.6
12	1.6	-11.2	-9.6
25/1	2.4	-12.6	-10.2
2	1.4	-12.3	-10.9

(年月)

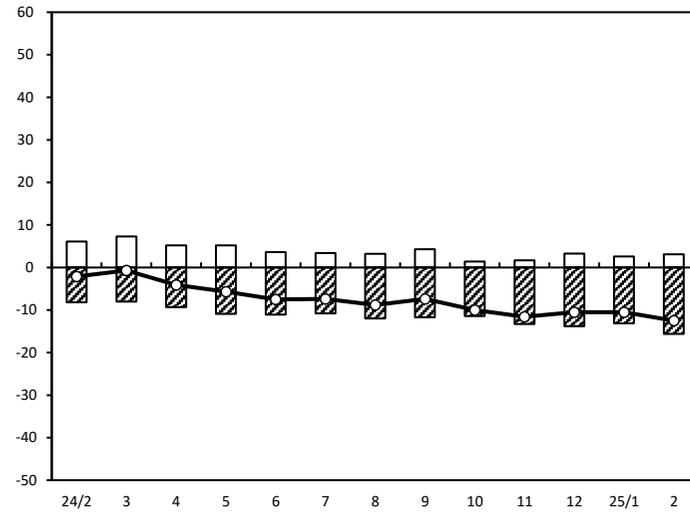
採算



年/月	増加	減少	DI
24/2	4.7	-14.0	-9.3
3	5.3	-11.0	-5.7
4	4.2	-11.8	-7.6
5	2.2	-13.9	-11.7
6	3.3	-15.1	-11.8
7	1.3	-13.4	-12.1
8	2.4	-16.5	-14.1
9	3.2	-14.3	-11.1
10	3.4	-13.9	-10.5
11	2.8	-15.7	-12.9
12	3.1	-17.6	-14.5
25/1	3.4	-14.9	-11.5
2	2.5	-17.3	-14.8

(年月)

業界の業況



年/月	増加	減少	DI
24/2	6.1	-8.2	-2.1
3	7.3	-8.0	-0.7
4	5.2	-9.3	-4.1
5	5.2	-10.9	-5.7
6	3.6	-11.1	-7.5
7	3.4	-10.8	-7.4
8	3.2	-12.0	-8.8
9	4.3	-11.7	-7.4
10	1.4	-11.4	-10.0
11	1.7	-13.3	-11.6
12	3.3	-13.8	-10.5
25/1	2.6	-13.1	-10.5
2	3.1	-15.6	-12.5

(年月)

小規模企業景気動向調査(2月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

全体的に物価高騰に対する価格転嫁が進んできており、売上の増加がみられる。しかしながら、利益に上がっていない事業者も多くあり、コロナ禍の時よりは改善してきている。

(岩手県岩手町商工会)

人手不足や、賃金・金利・仕入価額等の上昇による景気悪化要因はあるものの、全体的に経済が回っているように感じる。飲食業界はコスト転嫁が難しく、採算は低迷推移だが他業種は悪くはないように感じる。

(山形県南陽市商工会)

昨年の中頃は、すべての事業者にとって営業をすることが困難な状況であった。今は、営業が再開され仕事があることの大切さや、人との出会いやつながりの大切さを皆が意識している感じがあり、以前に比べて地元消費が増えているように感じる。

(石川県門前町商工会)

建設業や製造業について売り上げは上昇傾向にある。しかし物価高騰や人材不足については解消できていない。

(徳島県阿波市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

物価高の影響や消費者の買い控えの影響を受け、採算は悪化傾向にある事業所も目立ち、特に今後は建設業における働き方改革の影響も大きく影響してくると思われる。

(宮城県東松島市商工会)

仕入、経費、人件費など全ての価格が引き続き上昇傾向にある。消費者も節約志向が見られ需要が落ち込んでいる。

(福島県鹿島商工会 センター)

売上が増加傾向にあるが、それ以上に原材料費や光熱費の増加が目につきます。一部の事業者ではコスト増を販売価格に転嫁する動きが見られるものの、価格に転嫁できないものもあり、利益率が低下しています。各社、経費削減に努めてはいますが、なかなか厳しい状況です。

(茨城県桜川市商工会)

価格転嫁ができずに利益確保ができない小規模事業者が増加している。それが引き金となって廃業する事業所が増加している。

(埼玉県坂戸市商工会)

確定申告支援の際、業況をヒアリングしているが、物価高騰や人手不足等により採算がとれない事業所が多い。また、免税事業者のインボイス登録において、2割特例期間終了後の納税額を気にする声が多い。

(山梨県甲斐市商工会)

確定申告指導が始まり、インボイスについてあらためて説明や確認をする機会が増えた。経営環境が厳しいなか、売上1000万円以下の事業者については、インボイス要否(取りやめ)の判断についての相談も散見された。比較的業況の良い声が聞かれる建設業でも、確定申告指導時に決算書を確認すると、売上は大きく伸びているものの、現場が遠方で旅費や交通費が大幅に上昇していたり、仕事量が多く外注費がかさむなど、売上の増加対して所得はそれほど増えず(または減少)、といった例も見られ一概に良いと言えない様子も垣間見えた。

(静岡県沼津市商工会)

人材不足・物価高騰の影響が続いており、業況等芳しくないと思っている事業所が多くなっている。

(京都府長岡京市商工会)

例年になく積雪の影響で、経営環境が悪化している業種が多い。ただし、物価高騰の幅は鈍化しており、春に向けて景況は改善すると見込まれる。

(兵庫県新温泉町商工会)

インバウンド客、価格の転嫁等により売上は上昇しているが、コロナ禍での借入の据え置き期間が終了するなど資金繰りが悪化している事業所が散見される。

(広島県宮島町商工会)

全体として原材料費や原油価格の高騰、ガソリン代の上昇等の影響によって業況が悪化している。また、景気の停滞感が長期化していることから、景気回復の兆しが見えず、先行きが暗いという思いが事業者全体に広がっている。

(長崎県西そのぎ商工会)

物価高の影響をうけて価格転嫁できていない事業所が多い。田舎の事業所ほど価格転嫁しにくいいため全体的にネガティブな状況である。

(熊本県天草市商工会)

消費は増えているものの、原材料および人件費などの経費の上昇により、なかなか収益が出ない状況である。

(沖縄県北中城村商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

原材料の高騰により仕入れ単価は上昇している。元請けと価格交渉ができていない事業所とそうでない事業所と二極化が進んでいる。

(秋田県北秋田市商工会)

OEM菓子製造業者では、他社が業務改善により休止した商品の受注に成功し、販路拡大に成功している事例もある。また観光向けの食品製造事業者は観光客の増加により売上が増加しておりフル生産の事業者もいる。

(岐阜県高山北商工会)

食品製造業では人手不足が深刻化している中、タイミー(短時間バイトマッチングサービス)を活用してみたところ、意外と反応があったとの事。スーパーの総菜部門等で既に働いている者が隙間時間を利用して働きに来るケースもあり、新たな人材確保の手段として効果が見られている。

(島根県石中央商工会)

食料品製造関連業者は、灯油・ガソリン価格の高騰や原材料である小麦の高止まりを受け、約30年ぶりに卸値を15%ほど値上げした。そのため採算や資金繰り状況は好転し、懸念していたバイヤーからのネガティブな反応もなかったとのこと。一方で人材雇用については苦慮しており、環境整備のための設備投資を検討している。

(佐賀県唐津上場商工会 経営支援センター)

<悪化傾向を示すコメント>

記録的な寒波の影響により思うような可動ができず、経営がひっ迫した。

(秋田県白神八峰商工会)

降雪量が多かったこともあり徒歩で出かける人が少なく、弁当類の販売に影響があった。

(宮城県玉造商工会 鳴子事務所)

パン菓子製造販売業者では、小麦や乳製品の値上げにより製造原価の高止まりがあるが、一部商品の値上げにより対応している。しかし、エネルギー価格の高騰や賃金の引き上げなど経費の増大により利益の確保が難しい状況である。

(群馬県しづかわ商工会)

食料品製造業:依然として生鮮食品の仕入れ値は高止まり傾向にあるが、価格転嫁も一定程度進んできている印象。機械金属製造業:原材料価格や水道光熱費をはじめとした経費の値上がり収益に悪影響を及ぼしている。

(東京都昭島市商工会)

縫製業について、近隣市町村の縫製業が倒産しており当該地域への影響を心配し調査している最中。

(福井県南越前町商工会)

最低賃金や仕入単価をはじめとする各種経費の上昇が続いており、採算性の悪化が深刻である。この状況を打開するために、即効性のある物価高騰に対する支援施策を検討して頂きたい。

(岐阜県高山西商工会)

食料品製造:イベントに出店はしているが、売り上げはそこまで伸びず例年並み。縫製業:相変わらず数ヶ月先が見えない状況。安定して仕事が入ることはないが、今のところは仕事が入っている。自動車製造業の影響により上下しそう。機械金属:取引先の仕入れ価格の改定に伴い、毎月20%増程度の売上が確保できている。

(静岡県天竜商工会)

食品製造業では、悪天候の影響で人の動きが悪くお土産などの菓子製造業の売上高はやや減少している。繊維工業については、旅館などインバウンド需要が少し落ち着き昨年に比べ減少しており、園児服製造業は厳しい状況が続いている。

(兵庫県丹波市商工会)

食料品製造業は、昨年より若干の値上げを行ったが、買い控え等は感じていない。原材料の仕入れ値はほぼ変わらず、仕入状況も安定している。繊維工業は、物価高騰による消費者の買い控えや古着(中古)購入ニーズが高いことから縫製受注は減少傾向。機械・金属製造業は、原材料代上昇とガソリン補助金の縮小による物流(燃料)コストの上昇が懸念される。

(鳥取県北栄町商工会)

食料品製造業は、売上高が堅調に推移している一方で、原材料費の高騰という課題も抱えている。資金的に余力が出てきた事業者もあり、生産性の向上を目的とした設備の導入を検討している事業者も一部では出てきている。繊維工業製造業者は、商社からの受注状況に大きな変動はなく安定的な需要を維持しているが、人手不足と原材料費や運送コストの高騰も続いている。そのため、コスト管理に苦しみ、価格転嫁がうまく進まない状況が続いている。機械金属製造業においては、現状、売上高や原材料価格が横ばいで推移しているものの、業界全体の景況感はあまりよくない。燃料費や電気料金の上昇、人手不足の懸念が根強い。

(岡山県みまさか商工会 勝央支所)

食料品製造業は仕入れ価格が高騰し、利益率が悪化している。

(大分県中津市しもげ商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

今期は、災害救助法が適用となるぐらい観測史上最高記録を更新する積雪となったため、連日除雪作業が稼働していたことから前年と比較すると大幅に売上が増加した。しかし、人材不足が課題となっている建設業界では、限られた人員で連日の除雪作業をこなす必要があったため、厳しい労働環境を強いられていたようである。除雪作業の稼働日数及び稼働時間が長期化する中で、燃料コストも増加し、利益に大きく響いている。

(福島県会津美里町商工会)

年度末とあって、公共工事の納期に追われて、稼働率は高い。

(千葉県白子町商工会)

決算状況はどれも上昇しており、利益率も好転している。所得税の納税額は定額減税もあり昨年と同程度の見たとはなっているものの、納付税額が多くなってきていることを事業所に理解していただくよう説明している。

(岐阜県笠松町商工会)

売上・仕入れともに上昇はしているものの、採算は取れている。しかし人材不足は、解消されておらず人材確保のためのセミナーや就職説明会等に積極的に参加している企業が多くみられる。

(三重県伊勢小俣町商工会)

仕入単価や人件費は上昇しているが、それに伴う価格転嫁も徐々に進めつつある。しかしながら、人材不足は継続しており、不安要素が多い。

(長崎県対馬市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

物価高の影響により、材料費の値段が高騰。仕入価格に影響しており、その分単価を上げざるを得ない状況。

(宮城県みやぎ仙台商工会)

建設業は景気の影響を受けやすく、公共事業や民間投資の動向が業績に大きく関わっている。昨今、全国的にも労災事故の報告が増加している影響もあり、仕事の受注の条件として各種の有資格が求められてきており、受注に制限されてしまい仕事が減少しているという業者も出てきている。

(茨城県利根町商工会)

仕入単価の上昇が価格に十分に転嫁できず、収益を圧迫している。

(千葉県香取市商工会)

資材・人件費の高騰、人手不足、働き方改革による稼働日減少及び工期長期化等の経営環境の変化に対応するための体制づくりが課題である。

(新潟県寺泊町商工会)

建設業全般は、原材料高、人手不足もあり、新規着工の見送り、受注があっても対応出来ない案件もあり売上高は横這い。能登半島震災関連業者については冬場の大雪もあり一時的に工事が止まっている模様。

(石川県津幡町商工会)

同業者の廃業もあり、仕事の引き合いは増加しているが、仕入れや経費の単価は物価高騰等の影響を受けているので、外注費等もかさみ、忙しさのわりに儲かっている。そのため、消費税負担が大きい。

(岐阜県御嵩町商工会)

官公需要が停滞しており、年度繰越工事の発注が減少しているため、設備や機器の老朽化しているものの、先行きの不透明感から設備投資などが思うように進まない状況になっている。

(京都府福知山市商工会)

モノの流れが従来より遅くなり、工期が延びたり後ろ倒しになる傾向が見られる。その結果、受注量が減少し、売上の低下につながっている。また、資材価格や燃料費の高止まりに加え、工賃の上昇が続いており、協力会社や外注先の調整においても厳しい採算状況を強いられている。

(愛知県飛島村商工会)

建設業の売上は各月の完成時によってかなり波があるので、月次の判断は難しいところがありますが、小さい規模の会社ほど厳しい現状に変わりないと感じます。

(岡山県浅口商工会)

建設業においては、資材価格の高騰や人件費の上昇が経営を圧迫している。特に、原材料費の値上がりが続く中で受注価格への転嫁が難しく、利益率の低下が顕著である。また、人手不足感はあるものの、人件費の上昇分をカバーできるだけの受注確保が困難なため、採用を見合わせる事業者も少なくない。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

仕入単価が利益率を圧迫している。所得税、消費税などの税金が高い。減税を希望する。

(大分県佐伯市番匠商工会)

工事量は一定してあるが人手不足で工期内完成に苦慮している状況が見受けられる。資材高騰で利益確保に苦慮している状況。

(鹿児島県伊佐市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

価格高騰の影響で、価格が変動しやすい食料品に関しては収益として増加し資金繰りも前年同期と比較して良い状況。車両小売ではこれから新生活を迎える前に検討または購入されるケースが増えてきており、今後を期待したい。

(秋田県仙北市商工会 田沢湖支所)

衣料品小売業に関しては、寒暖差があるものの、季節の変わり目ということもあり、やや好調である。

(栃木県うつのみや市商工会)

前年同月は令和6年能登半島地震が発生し通常期の比較とはならないが、地震発生時に稼働できない期間を鑑みると売上は増加となる。全体的に物の価格が上昇していることが消費者にも織り込まれつつあり、消費は回復傾向にある。

(石川県宝達志水町商工会)

観光関係の増加に伴い、売上も増加傾向にある。仕入単価や配送運賃の上昇、船便の欠航による影響があるものの、業界の業況としてもやや好転している。

(鹿児島県知名町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

食料品小売業関連の事業者は仕入価格の上昇により、販売価格も値上げとなり消費者の買い控えの傾向が見られる。

(北海道新ひだか町商工会)

衣料品…昨年と比べ客数は変わらないが、衣料に対する高級志向への変化で客単価が大幅に減った影響で、冬物衣料は売上が大きく減少している。今後も新たな顧客が増える見込みもなく、業況全体の景気の悪さを感じる。食料品…売上高は前年並みだが、仕入れコスト高騰が続く経営に影響。異例の大雪で更なる価格上昇の懸念も。地元供給が不安定で県外仕入れに依存。これらの要因で今後の経営環境は厳しさを増す見込み。耐久消費財…前年同月とほぼ横ばい。物価高による買い控えが続いていると思われる。仕入価格に関しては外国製品が多く、軒並み仕入価格は上昇。春先の催事等の商戦に期待を寄せている。

(秋田県由利本荘市商工会 矢島支所)

小売業では、人手不足が続く中、高齢化による消費ニーズの変化への対応が求められています。年始商戦後は来店客数が落ち着き、特に食品や日用品の売上回復に苦戦する店舗が多い状況です。オンライン購買が拡大する一方、対応が遅れる事業者の競争力低下も課題となっています。さらに、資材高騰による価格転嫁が購買意欲に影響を及ぼしており、地域密着型サービスやオンライン対応の強化が今後の重要な課題となっています。

(茨城県稲敷市商工会)

物価高騰により消費者の買い控えが続いており、より安いものを求めて大型店等への顧客が著しい。

(群馬県富士見商工会)

物価高騰により原材料・仕入れ単価の上昇が目立っている。また原材料・商品の在庫も少なく、確保することも安定的ではない様子である。商品単価を適切に価格転嫁できていないこともあって採算性・資金繰りとしては厳しい状況が続いている。

(東京都清瀬商工会)

食料品小売業関連の事業者は仕入単価が上昇しており、それに合わせて小売価格も増加しているが、その他販管費の部分での値上げに対応するほどの小売価格上昇ではないため、採算・資金繰りは不変又はやや悪化している。

(岐阜県恵那市恵南商工会)

衣料品小売業は、滞留在庫を値引き販売したため利益が減少。食料品小売業は、商品全般の値上げに苦慮している。

(愛知県下山商工会)

衣料品においては、2月は大雪の影響を受けて客足が少なく、例年と比較すると売上高も減少。商品在庫が増加しているので採算は悪化傾向にある。食料品においては米の流通はある程度回復しているが、価格は前年同月と比較にならないほど増加している。その他の食料品も高止まりを続けており、消費者の購買意欲も高まっていない状況である。家電・自動車販売業では、仕入単価の上昇により利益確保が難航している。一方、家具販売は消費者のライフスタイルの変化に対応し、春以降のイベント計画などで積極的に販路開拓を進めている。

(鳥取県鳥取市西商工会)

食料品小売業においては、コメの仕入れ価格が高騰しており、利益を圧迫している。地区内の食料品小売業は、小規模な事業者はほとんどであり、今後の先行きが見通せない中、廃業を検討する事業者の声も聞かれる。

(岡山県阿哲商工会)

食料品小売業者について、インボイスを登録していない事業者からも仕入をしており、今後の消費税負担増を懸念している。耐久消費財関連事業者は、価格転嫁と設備投資により生産性を向上させたことで採算を維持できているが、仕入れ価格が昨年3回ほど高騰し、4月にも値上げが予定されている。

(佐賀県唐津上場商工会 経営支援センター)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

インバウンドによる海外からの観光宿泊客が鉄道がない地域まで来ていて、宿泊業に関して言えば非常に好況である。しかし、観光資源や地域物産が少ないことが影響し、その他の業種への波及効果が見られない状況。

(福岡県若宮商工会)

旅館・宿泊所関連の事業者は、引き続き宴会は好調。観光需要も高く業界については引き続き好調。

(熊本県阿蘇市商工会)

対象客が観光客であるサービス事業については安定して推移しており、状況も非常によい。

(宮崎県高千穂町商工会)

宿泊需要は伸びており今年の連休等は満室が多い。価格転嫁も少しずつ進めている。

(沖縄県八重瀬町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

理美容業：月末に寒波の影響などもあり、キャンセルが多かった。久々の雪で年配の方も車の運転が心配との事で予約の変更が多く、偏りが出ていた。

(秋田県潟上市商工会)

旅館・宿泊所関連の事業者は、国スポの当地での開催により、通常、閑散期にあたる2月に一週間程度となるが、集客につながった。全国規模のスキー大会は、すでに地域経済を維持する大切なイベントになっているように感じる。また、お弁当屋さんが前回大会に比べ激減しており、当館でも大会会場の役員用のお弁当を受注し、売上の向上につながった。洗濯業関連の事業者は、業界全体が売上減少している。値上げ、値上げで、クリーニングまでは入ってこない。理美容業関連の事業者は、昨年と比べ、降雪量の増加が影響しているのか来客が減少した。

(秋田県かづの商工会)

クリーニング業関連の事業者は、市場の縮小やコスト増により厳しい経営環境が続いている。さらに、資材費や光熱費の高騰が利益を圧迫し、料金の値上げが避けられない状況だが、競争が激しく価格転嫁が困難な状況にある。

(栃木県那珂川町商工会)

燃料費が高騰しているところに加え、断続的な寒波により利益を圧迫している。また、例年より多い積雪により若干客数は減少しているものの、値上げにより耐えている状況。

(群馬県富士見商工会)

理美容業については、物価高騰により価格転嫁による価格の改定を検討しているが既存顧客の中でもより安いお店を探して移ってしまう顧客もいる為、価格転嫁に踏み切れない状況が続いており依然として苦しい状況が続いている。

(埼玉県東松山市商工会)

クリーニング関連業者について、法人向け営業を行っているが受注には繋がっておらず、売上も減少傾向にある。

(福井県福井東商工会)

仕入れの一段の高騰で利益確保が厳しい。一方で人手不足により人員確保の為に給料の引き上げが必要となっているが、その原資を捻出することができない。光熱費や燃料費の高騰も響いている。価格転嫁したくても物価高による市況低迷で節約志向が強まり難しい。

(岐阜県海津市商工会)

コロナ明け一定のレベル感にはなってきており、一部の優良企業は好調をキープしているものの、全体を見れば厳しい。サービス業は大手優良サイトからの紹介を受けなければ売上がたたないので、高額な手数料を払ってでも維持している感がある。

(京都府木津川市商工会)

旅館では、3連休と大雪が重なり、キャンセルが発生している。洗濯では、昨年と比べ雪が多く売上額が伸び悩んだ。今後としては、インターネット販売の販路拡大を図り、売上向上に繋げていく事が必要。理・美容では、昨年より天候不順が多く予約日変更などで、来店サイクルが長くなってしまっている。光熱費・美容資材が昨年より高いが、価格転嫁はできていない。

(鳥取県大山町商工会)

物価高騰などの影響により、旅行などのレジャーを控え、節約をされている方が多いように感じる。理美容業は、コロナ前までは2か月1回ペースで来店される客が多かったが、コロナの影響により4か月1回くらいのペースでの来店客が増えた。現在も、そのペースで来店されており、コロナ前のような売上に戻ることは無いと感じている。

(岡山県瀬戸内市商工会)

理美容業では、事業主の高齢化とともに顧客も高齢化し少しずつ売上は減少している事業者が多い。

(香川県高松市中央商工会)

燃料費高騰が利益を圧迫している(洗濯業)。仕入調整により利益は保つことができているが、業界として厳しい状況が続いている(理美容業)。

(鹿児島県日置市商工会 日吉支所)